

令和6年度 業務実績報告書

令和7年6月

地方独立行政法人岐阜県立下呂温泉病院

I 法人の概要

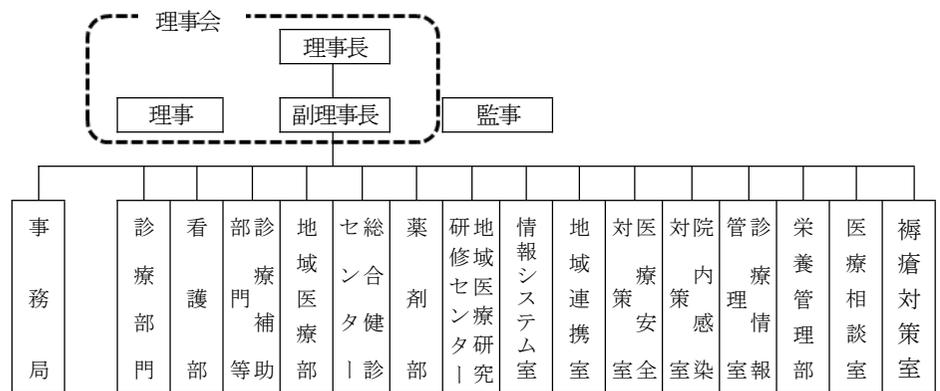
1 法人の現況

- (1) 法人名称
地方独立行政法人 岐阜県立下呂温泉病院
- (2) 所在地
岐阜県下呂市森2211
- (3) 設立年月日
平成22年4月1日

(4) 役員の状況 (令和6年4月1日現在)

役員名	区分	氏名
理事長	常勤	大平 敏樹
副理事長	常勤	天岡 望
理事	常勤	西垣 和彦
理事	常勤	高野 朋治
理事	非常勤	大塚 正義
監事	非常勤	堀 雅博
監事	非常勤	井上 学

(5) 組織図



(6) 職員数 (令和6年4月1日現在)

単位：人

職種	常勤	非常勤	計
医師・歯科医師	24	※ 6	30
看護師等	168	49	217
コメディカル	58	11	69
事務等	26	46	72
計	276	112	388

※医師1人を除きフルタイム勤務

2 法人の基本的な目標

(1) 中期目標の前文

地方独立行政法人岐阜県立下呂温泉病院（以下「法人」という。）は、平成22年度設立以降、県民が身近な地域でいつでも安心して良質な医療を享受できるように、飛騨圏域南部の基幹病院として地域の医療水準の向上及び住民の健康増進に取り組んできた。

平成27年度から令和元年度までの第2期中期目標期間においては、より質の高い医療サービスを提供するため、医師等医療従事者の確保の取組み、多様な契約手法の導入等、地方独立行政法人制度の特徴を生かした病院経営に努めたものの、経常収支比率100%の達成は厳しい見通しとなった。

一方、医療を取り巻く環境は、少子高齢化が進行し、2025年には全ての団塊世代が75歳以上となることから、将来あるべき医療提供体制や地域包括ケアシステムの構築を通じて、地域における医療や介護を確保するため、県では、地域医療構想を策定し、医療機能の分化や地域の医療機関の連携を推進している。

このため、第3期中期目標期間においては、これらの医療制度や社会経済情勢の変化に迅速に対応するとともに、第2期中期目標期間の経営面・運営面における実績等を踏まえ、さらなる自主性・効率性・透明性の高い病院運営に努め、飛騨圏域南部の中核病院として、政策医療を担う等重要な役割を果たすとともに、地域医療構想を踏まえた医療の提供や地域の医療機関との連携により、地域全体の医療水準の向上を図り、もって県民の健康の確保及び増進に寄与していくことを強く求めるものである。

(2) その他法人の特徴として記載すべき事項
 平成26年5月に新築移転した新病院の機能を活用し、飛騨南部地域における中核病院として、下記の役割を担う。

- ・ 地域医療の教育・研究（地域医療研究研修センターの機能）
- ・ へき地医療の提供と支援
- ・ 高度急性期医療の提供
- ・ 地域災害医療の提供
- ・ 終末期医療（入院・在宅）の提供
- ・ 医療従事者の確保
- ・ 地域医療機関等との連携

3 設置する病院の概要

(1) 病院名称

岐阜県立下呂温泉病院

(2) 所在地（平成26年5月1日から）

岐阜県下呂市森2211

(3) 沿革

昭和28年7月1日 岐阜県立下呂病院 開設

昭和35年5月4日 名称変更「岐阜県立下呂温泉病院」

平成26年5月1日 下呂市森へ新築移転

(4) その他(令和6年4月1日現在)

主な役割 及び機能	<input type="radio"/> へき地中核病院 <input type="radio"/> へき地医療拠点病院 <input type="radio"/> 救急告示病院 <input type="radio"/> 病院群輪番制病院 <input type="radio"/> 臨床研修指定病院
診療科	内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、内分泌内科、腎臓内科、小児科、外科、消化器外科、乳腺外科、胸部外科、心臓血管外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、歯科口腔外科、病理診断科、臨床検査科、救急科
許可病床数	206床（一般：168床 療養：38床）
看護体制	7対1、10対1（地域包括ケア病棟及び回復期病棟については、13対1）
年間延患者数 (R6実績)	入院 46,316人 外来 60,707人

建物面積	19,594㎡
理念	地域の中核病院「へき地医療の拠点病院」として“生活の場の医療”を県立病院の立場から創設し、地域住民及び県民から信頼され、必要とされる病院づくりを目指します。
基本方針	<ol style="list-style-type: none"> 1. 病める人の権利を擁護し適切な医療を行います。 2. より質の高い医療の提供に努めます。 3. 患者・住民サービスの向上に努めます。 4. へき地医療の拠点病院として地域医療の充実を図ります。 5. 地域の医療機関との連携・協力体制の充実を図ります。 6. 健全な経営に努めます。

II 全体的な状況

1 住民に対して提供するサービスその他業務の質の向上に関する目標を達成するための取組

1-1 診療事業

多様な手段の積極的活用による医師確保の取組みにより、令和6年度は常勤医として内科医2人を確保することができたほか、引き続き臨床研修医2人を確保することができた。また、職員の資格取得の促進・専門研修参加への支援、医療安全・院内感染防止対策の確立等により、飛騨圏域南部の基幹病院として、地域県民が必要とする医療の提供に努めた。

- ・急性期医療・政策医療の提供
- ・医療従事者の資質向上
- ・患者サービス、院内環境の快適性向上
- ・診療体制の充実
- ・へき地医療の拠点機能の充実

1-2 調査研究事業

調査研究の推進、診療等で得られた情報の活用や保健医療情報を発信することで、県民の健康意識向上に努めるとともに、医療情報データベースの構築に寄与した。

- ・地域施設における感染対策研修会等の開催
- ・病院ホームページ等による保健医療情報の提供
- ・院内活動に関して病院ホームページでの情報提供
- ・NCD、全国がん登録等医療情報データベースへのデータ提供

1-3 教育研修事業

令和6年度は、臨床研修医2人の採用を行った。さらに、岐阜大学地域医療医学センター及び岐阜県総合医療センター等の臨床研修医に係る研修協力施設として、「地域医療研修（1ヶ月）」の受入れを行い、医師の養成に努めた。

さらに、岐阜大学医学部医学科や下呂看護専門学校等の学生、下呂市消防本部の救急救命士等の地域医療従事者の実習受入れを行い、教育・研修の充実を図った。

1-4 地域支援事業

地域医療機関や在宅医療への支援として、以下の事業に取り組み、地域支援に努めた。

- ・東白川村国保診療所等への医師の派遣による人的支援
- ・地域開業医等の当院医療機器の共同利用の推進
- ・地域施設における感染対策研修会等の開催

1-5 災害等発生時における医療救護

岐阜県と医療措置協定を締結し、感染症発症・まん延時に迅速かつ的確な措置を講ずるための専用病床を確保する体制を構築した。

- ・また、医療救護活動の拠点機能を担うため、災害発生時に備えて体制の充実、訓練を実施した。
- ・大規模災害発生を想定した安否確認及び情報伝達、登院の可否を確認する初動体制訓練の実施
- ・各部門ごとにBCPに基づく机上訓練の実施によるBCPの理解の深化
- ・被災後の感染症流行を想定した、感染対策備品の備蓄及び使用ルールの構築

2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組

人員の弾力的配置と地方独立行政法人のメリットを活かした人材確保により、看護体制の確保を図るとともに、業務運営の見直しや効率化・費用節減の徹底として、医療機器保守点検料の見直し（スポット契約等）を引き続き行い、収支改善に努めた。また、経営効率の高い業務執行体制の確立のため、経営情報を共有することで職員の経営意識の向上を図っている。
未収金対策として、電話・臨宅による催告や、分納制度を活用するなどして回収に努めた。

3 予算、収支計画及び資金計画（財務内容の改善に関する事項）

収支計画のうち収益の部については、前年度に比較して営業収益で約7千3百万円の減額等により、収益の部全体で約37億1千9百万円、約8千5百万円の減額となった。（年度計画に対しては約4億8千7百万円の減額）

一方、費用の部については、前年度と比較して営業費用で約1億8百万円の減額となり、費用の部全体で約46億9千5百万円、約1億1千1百万円の減額となった。（年度計画に対しては約1億4千6百万円の減額）

この結果、前年度と比較して約2千7百万円改善したが、約9億7千6百万円の純損失となった。（年度計画では6億3千5百万円の純損失）

また、経常収支比率は、収支計画86.9%に対して、決算では79.2%、医業収支比率は、収支計画89.3%に対し、決算では81.4%、職員給与費対医業収益比率は、収支計画91.0%に対し、決算では103.1%と、いずれも計画を達成することができなかった。

来期以降も中期計画で定める経常収支比率100%以上、職員給与費対医業収益比率75%以下、医業収支比率100%以上を目指し、継続して経営努力を行っていく。

4 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項

就労環境の向上

職員の就労環境の向上のため、院内保育所の体制強化、人間ドック事業・定期健診の院内実施・健康管理セミナー開催等の健康管理対策を実施した。

平成27年度に締結したユニオンジョブ協定を機に、労使による適正な労働環境の向上に引き続き努めた。

また、時間外勤務の事前命令・事後確認の徹底、電子カルテアクセスログ等の適正管理に加え、タイムカードやICカードにより、医師、看護師、コメディカル及び事務職員に対する時間外勤務等の適正化を図った。

医療機器整備

医療機器の整備については、導入時期、費用対効果等を勘案し、計画的な整備に努めた。

法人が負担する債務の償還に関する事項

法人が負担する債務の償還については、岐阜県に対する債務の償還を確実に実施した。

Ⅲ 自己評価結果一覧表

項目	項目番号	自己評価	検証結果
1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するための取組			
1-1 診療事業			
1-1-1 より質の高い医療の提供	01	Ⅲ	
1-1-2 患者・住民サービスの向上	02	Ⅲ	
1-1-3 診療体制の充実	03	Ⅲ	
1-1-4 近隣の医療機関等との役割分担及び連携	04	Ⅲ	
1-1-5 重点的に取り組む医療	05	Ⅳ	
1-2 調査研究事業			
1-2-1 調査及び臨床研究等の推進	06	Ⅲ	
1-2-2 診療情報等の活用	07	Ⅲ	
1-3 教育研修事業			
1-3-1 医師の卒後臨床研修等の充実	08	Ⅳ	
1-3-2 医師・看護師・コメディカルを目指す学生、救急救命士等に対する教育の実施	09	Ⅳ	
1-4 地域支援事業			
1-4-1 地域医療への支援	10	Ⅲ	
1-4-2 社会的な要請への協力	11	Ⅲ	
1-4-3 保健医療情報の提供・発信	12	Ⅲ	
1-5 災害等発生時における医療救護			
1-5-1 医療救護活動の拠点機能の充実	13	Ⅲ	
1-5-2 被災時における病院機能維持のための準備体制の充実	14	Ⅲ	
1-5-3 新型インフルエンザ等発生時における役割の発揮	15	Ⅳ	

項目	項目番号	自己評価	検証結果
2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組			
2-1 効率的な業務運営体制の確立			
2-1-1 組織体制の充実	16	Ⅲ	
2-1-2 診療体制及び人員配置の弾力的運用	17	Ⅲ	
2-1-3 人事評価システムの早期構築及び運用	18	Ⅲ	
2-1-4 事務部門の専門性の向上	19	Ⅲ	
2-1-5 コンプライアンス（法令等の遵守）の徹底	20	Ⅲ	
2-1-6 適切な情報管理	21	Ⅲ	
2-2 業務運営の見直しや効率化による収支の改善			
2-2-1 多様な契約手法の導入	22	Ⅲ	
2-2-2 収入の確保	23	Ⅲ	
2-2-3 費用の削減	24	Ⅲ	
3 予算(人件費の見積含む。)、収支計画及び資金計画	25	Ⅱ	
4 短期借入金の限度額			
5 出資等に係る不要財産又は出資等に係る不要財産となることが見込まれる財産がある場合には、当該財産の処分に関する計画			
6 重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画			
7 剰余金の使途			
8 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項			
8-1 職員の勤務環境の向上	26	Ⅲ	
8-2 岐阜県及び他の地方独立行政法人との連携	27	Ⅲ	
8-3 施設・医療機器の整備	28	Ⅲ	
8-4 内部統制の充実強化	29	Ⅲ	
8-5 法人が負担する債務の償還に関する事項	30	Ⅲ	

IV 財務情報及び人員に関する情報

指標	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
経常収益 (千円)	4,746,044	4,716,657	4,443,292	3,804,020	3,718,107
経常費用 (千円)	4,580,932	4,774,051	4,691,896	4,806,361	4,695,270
経常利益 (千円)	165,112	▲57,393	▲248,603	▲1,002,340	▲977,163
従事人員数 (人)	419	416	408	409	388

V 項目別の状況

主な指標								
指標	達成目標 (中期目標・中期計画)	(参考) 前中期目標最終年度値	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
			経常収支比率	100 %以上	86.0 %	103.6%	98.8%	94.7%
医業収支比率	100 %以上	88.2 %	106.8%	101.5%	97.3%	81.1%	81.4%	
職員給与費対医業収益比率	75 %以下	94.5 %	93.9%	106.9%	103.3%	109.4%	103.1%	

1 住民に対して提供するサービスその他業務の質の向上に関する目標を達成するための取組

中期 目標	<p>1-1 診療事業 飛騨圏域南部の基幹病院として、近隣の医療機関との役割分担・連携の下、急性期医療、政策医療等の県民が必要とする医療を提供することを求める。</p> <p>※ より質の高い医療の提供 法人が有する人的・物的資源を有効に活用し、病院の特性や専門性を生かした医療に取り組むことで、県内医療水準の向上に努めること。 特に、医師、薬剤師等医療スタッフの確保や医師のタスク・シフティング（業務の移管）に資する特定行為を実施できる看護師の育成及び各職種の教育研修の充実に努め、提供する医療水準の維持・向上を図ること。 また、個々の患者に最適な医療を選択し、より質の高い医療を提供するため、チーム医療やクリニカルパスの推進、入院支援の充実、ICT（情報通信技術）やAI（人工知能）等の活用に努めること。 さらに、院内感染予防、医療事故防止等医療安全対策を徹底し、安全・安心な医療と治療環境の提供に努めること。</p> <p>※ 患者・住民サービスの向上 来院から診察、検査、会計等に至る全てのサービスの待ち時間の改善、快適性及びプライバシー確保に配慮した院内環境の充実、インフォームド・コンセントの徹底、セカンドオピニオンの推進、医療に関する相談体制の充実等、病院が提供する全てのサービスについて患者の利便性の向上に努めるとともに、患者満足度調査の実施等により満足度の向上を図ること。 また、病院運営について、ホームページ等を通じて積極的に情報発信するとともに、患者のみならず地域住民の意見を取り入れ、患者・住民サービスの向上を図ること。</p> <p>※ 診療体制の充実 医療需要の質的・量的な変化や新たな医療課題に適切に対応するため、患者動向や医療需要の変化に即して診療部門の充実若しくは見直し又は専門外来の設置若しくは充実等診療体制の整備・充実に努めること。</p> <p>※ 近隣の医療機関等との役割分担及び連携 医療保険者による糖尿病の重症化予防や脳卒中、心臓病その他の循環器病の予防等の取組を推進すること。 近隣の医療機関等との役割分担を明確にし、病院・病床機能の分化・強化を図るとともに、地域連携クリニカルパスやICT（情報通信技術）の活用等により地域の医療機関との連携を充実・強化し、地域の実情に応じて飛騨圏域南部の基幹病院としての機能を引き続き発揮し、県民が求める医療を提供すること。 また、紹介率・逆紹介率の維持・向上に努めること。 さらに、円滑に在宅医療・介護へ移行するため、他の機関との連携を充実・強化し、医療から介護・福祉へと切れ目のないサービス提供の促進を図ること。</p> <p>※ 重点的に取り組む医療 急性期医療及び政策医療といった他の医療機関においては実施が困難ではあるものの県民が必要とする医療を確保するとともに、二次救急医療機関としての役割を維持すること。 特に、高齢人口が多い地域性を踏まえた予防医療の推進、回復期機能の更なる充実等により、予防から治療、在宅復帰支援までの一貫した医療を提供するとともに、へき地医療拠点病院として診療所への医療支援の充実に努めること。 予防医療については、がん検診の精度管理の向上等により総合健診センターの更なる充実に努めるとともに、認知症予防対策の推進に取り組むこと。 また、医療と介護の両方を必要とする患者や終末期に自宅での療養を望む患者への対応のため関係機関との連携の推進を図るとともに、認定看護師等の活用により、在宅療養支援の充実に努めること。</p>
----------	--

項目 No.	中期計画の取組項目	R6年度計画で特に進捗した取組み/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み/ 課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																																																																																				
01	※ より質の高い医療の提供 1 医療機器の計画的な更新・整備 2 医師、看護師、薬剤師等の医療従事者の確保 3 大学等関係機関との連携や教育研修の充実による優れた医師の養成 4 特定行為看護師、認定看護師等の資格取得の促進 5 コメディカルに対する専門研修の実施 6 専門性を発揮したチーム医療の推進 7 ICT（情報通信技術）やAI（人工知能）等の活用 8 入退院支援の充実 9 医療事故防止等医療安全対策の充実 10 院内感染防止対策の充実	1 医療機器の計画的な更新・整備 ・高額の医療機器については、補助金等の活用を図ることを更新・整備の条件としている。 ・令和6年度は、へき地医療拠点病院設備整備補助金を活用し、デジタルX線TVシステムを更新し、また、重症難病拠点・協力病院設備整備事業補助金を活用してオペ室用ベッドサイドモニターを更新し、診療機能の向上を図った。 更新・整備を実施した医療機器の稼働件数 単位：件 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>整備年度</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内視鏡ビデオシステム（上部）</td> <td>H25</td> <td>1,209</td> <td>1,177</td> <td>1,411</td> </tr> <tr> <td>X-TV 透視診断装置</td> <td>H25</td> <td>310</td> <td>289</td> <td>325</td> </tr> <tr> <td>MRI（超伝導磁気共鳴画像診断装置 1.5T）</td> <td>H25</td> <td>1706</td> <td>1,741</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>手術用顕微鏡システム</td> <td>H28</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>内視鏡ビデオシステム（下部）</td> <td>H29</td> <td>519</td> <td>561</td> <td>580</td> </tr> <tr> <td>ガンマカメラ</td> <td>H30</td> <td>137</td> <td>170</td> <td>160</td> </tr> <tr> <td>全身用X線CT装置</td> <td>R2</td> <td>647</td> <td>3,476</td> <td>5,494</td> </tr> <tr> <td>回診用X線撮影装置</td> <td>R3</td> <td>496</td> <td>508</td> <td>410</td> </tr> <tr> <td>血管撮影装置</td> <td>R3</td> <td>64</td> <td>54</td> <td>39</td> </tr> <tr> <td>MRI（超伝導磁気共鳴画像診断装置 1.5T）</td> <td>R5</td> <td>—</td> <td>0</td> <td>1,984</td> </tr> <tr> <td>X-TV 透視診断装置</td> <td>R6</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>659</td> </tr> </tbody> </table> ※H26、27、R1及びR4年度は高額医療機器の整備実績なし ※MRI（R5年度整備）はR6年4月からの稼働のため、R5年度は実績なし 2 医師、看護師、薬剤師等の医療従事者の確保 ○ 医師の確保 ・前年度に引き続き臨床研修医2人を確保することができた。 ・内科で2人を確保することができた。 ・医師募集エージェントへの登録（インターネット等の活用）は、前年度に引き続き、募集情報を登録。（8社）	項目／年度	整備年度	R4	R5	R6	内視鏡ビデオシステム（上部）	H25	1,209	1,177	1,411	X-TV 透視診断装置	H25	310	289	325	MRI（超伝導磁気共鳴画像診断装置 1.5T）	H25	1706	1,741	—	手術用顕微鏡システム	H28	5	4	4	内視鏡ビデオシステム（下部）	H29	519	561	580	ガンマカメラ	H30	137	170	160	全身用X線CT装置	R2	647	3,476	5,494	回診用X線撮影装置	R3	496	508	410	血管撮影装置	R3	64	54	39	MRI（超伝導磁気共鳴画像診断装置 1.5T）	R5	—	0	1,984	X-TV 透視診断装置	R6	—	—	659	3 大学等関係機関との連携や教育研修の充実による優れた医師の養成 ・協力型臨床研修病院として、臨床研修プログラムで設定されている「地域医療研修（1ヶ月）」について他病院の臨床研修医の受入れを行った。 ・岐阜大学医学部医学科学生の初期体験実習、夏季（地域体験）実習及び選択臨床実習の受け入れを行った。 臨床研修医の受入状況 単位：人 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>岐阜大学医学部附属病院</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>岐阜県総合医療センター</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>岐阜市民病院</td> <td>4</td> <td>8</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>10</td> <td>15</td> <td>14</td> </tr> </tbody> </table> ※歯科を含む。 岐阜大学医学部医学科学生の受入状況 単位：人 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>初期体験実習</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>夏季（地域体験）実習</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>選択臨床実習</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>20</td> </tr> </tbody> </table> 4 特定行為看護師、認定看護師等看護等の資格取得の促進 ○ 特定行為研修 ・創傷関連 1人 修了 ・栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 1人 修了 ○ 認定看護師 ・ファーストレベル 5人 修了 ・セカンドレベル 2人 修了 ○ その他の専門研修参加 ・災害対策に関する研修 5人 ・医療安全管理者養成研修 1人 ・新生児蘇生法専門コースAコース 2人 ・ストーリーナビリテーション研修 2人	項目／年度	R4	R5	R6	岐阜大学医学部附属病院	2	4	1	岐阜県総合医療センター	4	3	5	岐阜市民病院	4	8	8	計	10	15	14	項目／年度	R4	R5	R6	初期体験実習	—	—	18	夏季（地域体験）実習	—	—	1	選択臨床実習	—	—	1	計	—	—	20	III	医師の確保（内科、臨床研修医）、特定行為看護師資格の取得、医学生の実習受入れについては評価できるが、項目全体では平年並みの実績と評価。
項目／年度	整備年度	R4	R5	R6																																																																																																					
内視鏡ビデオシステム（上部）	H25	1,209	1,177	1,411																																																																																																					
X-TV 透視診断装置	H25	310	289	325																																																																																																					
MRI（超伝導磁気共鳴画像診断装置 1.5T）	H25	1706	1,741	—																																																																																																					
手術用顕微鏡システム	H28	5	4	4																																																																																																					
内視鏡ビデオシステム（下部）	H29	519	561	580																																																																																																					
ガンマカメラ	H30	137	170	160																																																																																																					
全身用X線CT装置	R2	647	3,476	5,494																																																																																																					
回診用X線撮影装置	R3	496	508	410																																																																																																					
血管撮影装置	R3	64	54	39																																																																																																					
MRI（超伝導磁気共鳴画像診断装置 1.5T）	R5	—	0	1,984																																																																																																					
X-TV 透視診断装置	R6	—	—	659																																																																																																					
項目／年度	R4	R5	R6																																																																																																						
岐阜大学医学部附属病院	2	4	1																																																																																																						
岐阜県総合医療センター	4	3	5																																																																																																						
岐阜市民病院	4	8	8																																																																																																						
計	10	15	14																																																																																																						
項目／年度	R4	R5	R6																																																																																																						
初期体験実習	—	—	18																																																																																																						
夏季（地域体験）実習	—	—	1																																																																																																						
選択臨床実習	—	—	1																																																																																																						
計	—	—	20																																																																																																						

項目 No.	中期計画の取組項目	R6年度計画で特に進捗した取組み/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み/ 課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																																																														
		<ul style="list-style-type: none"> 常勤医不在の診療科（脳神経外科、皮膚科、耳鼻咽喉科、眼科）及び常勤医不足の診療科については、岐阜大学病院・岐阜県総合医療センター等からの支援医師（非常勤）により、診療体制を確保し、地域の県民ニーズに対応した医療の推進を図った。 <p>診療依頼延べ件数 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,497</td> <td>1,548</td> <td>1,527</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ○ 看護師負担の軽減と看護体制維持に必要な看護師数の確保 ・看護部において、ワークライフバランス（WLB）推進を継続した。年次有給休暇の取得促進を図った結果、中途退職者および休業・退職者の増加により職員数は減少したものの、計画的な取得を推進したことにより、令和6年度の全看護職員の平均取得日数は8.9日となり、前年度（7.9日）を上回った。 ・看護の質の向上と時間外勤務の短縮を目的として、引き続き「PNS（パートナーシップ・ナーシング・システム）」看護体制を実施した。 ・PNS看護体制の補完機能を活用し、院内の部署間で相互支援を行う取組みを進めることで、職員数の減少を補った。また、プラチナナースをそれぞれの経験を活かせる部署に配置した。 ・4月及び3月に病床の再編成を行い、入院基本料に応じた人員配置への見直しを実施したが、看護職員の減少により、十分な余裕を感じられるまでの改善には至らなかった。 ・WLB推進事業委員会を中心に「育児懇談会」を開催し、育児休業明けの看護師の不安軽減を図った。 ・法人化のメリットである弾力的な職員採用体制で、看護体制の維持に必要な看護師・看護補助者等の確保を継続した。 ・再就職支援者研修を2回計画したが、応募者がなかったため実施しなかった。 ・看護学生を対象としたインターンシップを開催し、5人の参加があった。ふれあい看護体験や中学生の職場体験の受入れに加え、地域イベントにも積極的に参加し、知名度向上に向けた活動を行った。 	R4	R5	R6	1,497	1,548	1,527	<ul style="list-style-type: none"> ・ICLS講習会 2人 <p>特定行為看護師数 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>創傷関連</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>栄養・水分・薬剤関連</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>認定看護師・認定看護管理者数 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>皮膚排泄ケア</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>感染管理</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>脳卒中リハビリテーション</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>緩和ケア</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>摂食・嚥下</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>認知症看護</td> <td>—</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>認定看護管理者</td> <td>—</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table> <p>※各年度末時点</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ eラーニング（Electronic Learning）による研修の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・集合研修 24回 ・推奨研修 8講義 ・推奨研修受講率 93.9% 5 コメディカルに対する専門研修の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・コメディカルの研修会、学会への参加に対して経費的支援を行い、専門技術・技能の向上を図った。 <p>コメディカルの研修会・学会参加人数 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬剤師</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>臨床検査技師</td> <td>0</td> <td>9</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>臨床工学技士</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>診療放射線技師</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>リハビリテーション技師</td> <td>8</td> <td>4</td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table> 	項目/年度	R4	R5	R6	創傷関連	0	1	2	栄養・水分・薬剤関連	0	0	1	項目/年度	R4	R5	R6	皮膚排泄ケア	2	2	2	感染管理	2	2	2	脳卒中リハビリテーション	1	1	1	緩和ケア	1	1	1	摂食・嚥下	1	0	0	認知症看護	—	1	1	認定看護管理者	—	1	1	計	7	8	8	項目/年度	R4	R5	R6	薬剤師	1	2	1	臨床検査技師	0	9	19	臨床工学技士	1	1	0	診療放射線技師	5	5	4	リハビリテーション技師	8	4	12		
R4	R5	R6																																																																																	
1,497	1,548	1,527																																																																																	
項目/年度	R4	R5	R6																																																																																
創傷関連	0	1	2																																																																																
栄養・水分・薬剤関連	0	0	1																																																																																
項目/年度	R4	R5	R6																																																																																
皮膚排泄ケア	2	2	2																																																																																
感染管理	2	2	2																																																																																
脳卒中リハビリテーション	1	1	1																																																																																
緩和ケア	1	1	1																																																																																
摂食・嚥下	1	0	0																																																																																
認知症看護	—	1	1																																																																																
認定看護管理者	—	1	1																																																																																
計	7	8	8																																																																																
項目/年度	R4	R5	R6																																																																																
薬剤師	1	2	1																																																																																
臨床検査技師	0	9	19																																																																																
臨床工学技士	1	1	0																																																																																
診療放射線技師	5	5	4																																																																																
リハビリテーション技師	8	4	12																																																																																

項目 No.	中期計画の取組項目	R6年度計画で特に進捗した取組み/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み/ 課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																																																																																																												
		<p>看護師等に係る採用活動の実績 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">項目/年度</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">常勤</td> <td>看護師</td> <td>5</td> <td>2</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>助産師</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>保健師</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">非常勤</td> <td>(専門業務) 看護師</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>(業務補助) 看護師</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>(専門業務) 看護補助者</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(業務補助) 看護補助者</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>※各年度4月1日採用者は、前年度の採用状況に含む。</p> <p>○ コメディカル等の医療従事者の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> より質の高い医療の提供に必要なコメディカル、医師事務作業補助者の確保に取り組んでいる。薬剤師の確保については、随時募集の実施や大学へのPRを行っているが、欠員(1人)が充足できない状態が続いている。今後も引き続き薬剤師の確保に取り組む。(●) <p>コメディカル(常勤)採用活動の実績 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬剤師</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>臨床検査技師</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>臨床工学技士</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>診療放射線技師</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>理学療法士</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>作業療法士</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>言語聴覚士</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>管理栄養士</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>社会福祉士</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>※各年度4月1日採用者は、前年度の採用状況に含む。</p> <p>医師事務作業補助者採用活動の実績 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師事務作業補助者</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>※各年度4月1日採用者は、前年度の採用状況に含む。</p>	項目/年度		R4	R5	R6	常勤	看護師	5	2	4	助産師	0	0	0	保健師	0	1	0	非常勤	(専門業務) 看護師	1	0	3	(業務補助) 看護師	0	0	0	(専門業務) 看護補助者	1	0	1		(業務補助) 看護補助者	0	0	0	項目/年度	R4	R5	R6	薬剤師	0	0	0	臨床検査技師	0	0	0	臨床工学技士	0	0	0	診療放射線技師	0	1	0	理学療法士	2	2	1	作業療法士	1	0	1	言語聴覚士	0	0	1	管理栄養士	0	0	0	社会福祉士	0	1	0	項目/年度	R4	R5	R6	医師事務作業補助者	1	0	0	<table border="1"> <thead> <tr> <th>管理栄養士</th> <th>3</th> <th>3</th> <th>1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計</td> <td>18</td> <td>24</td> <td>37</td> </tr> </tbody> </table> <p>6 専門性を発揮したチーム医療の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 各部署から業務改善計画書の提出(計20事例)があった。 類似のインシデントが発生した場合、業務改善策を評価し直し、再度実施するPDCAサイクルを回すことで更なる業務改善に繋げた。 重大なインシデント分析をするにあたっては、多職種連携を図り、専門的な視点から分析を行い、より安全なチーム医療を押し進めた。 新型コロナウイルス対策連絡会議は令和6年3月末で定期開催を終了し、今後は必要時の開催とする。 ACPの院内浸透に課題が残る中、指針の見直しや症例検討を通じて多職種連携を推進。緩和ケアチーム内での学習を継続し、専門性向上に努めるとともに、下呂市と協力して市民向けACPノート作成を行い、地域啓発に貢献した。今後は職員研修としてACP勉強会を実施し、院内理解の促進と実践の定着を目指す。 <p>委員会等実施件数 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療安全管理委員会</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>医療安全対策室会議</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>医療安全対策推進担当者会議</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>看護事故防止委員会</td> <td>11</td> <td>12</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>院内感染防止対策委員会</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>感染対策室会議</td> <td>31</td> <td>38</td> <td>44</td> </tr> <tr> <td>新型コロナウイルス対応連絡会議</td> <td>50</td> <td>20</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>※R4年度の一部は書面開催</p> <p>7 ICT(情報通信技術)やAI(人工知能)等の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 診療の効率化、医療従事者の負担軽減につながるICTやAI 	管理栄養士	3	3	1	計	18	24	37	項目/年度	R4	R5	R6	医療安全管理委員会	12	12	11	医療安全対策室会議	12	12	12	医療安全対策推進担当者会議	6	6	6	看護事故防止委員会	11	12	10	院内感染防止対策委員会	12	12	12	感染対策室会議	31	38	44	新型コロナウイルス対応連絡会議	50	20	0		
項目/年度		R4	R5	R6																																																																																																																													
常勤	看護師	5	2	4																																																																																																																													
	助産師	0	0	0																																																																																																																													
	保健師	0	1	0																																																																																																																													
非常勤	(専門業務) 看護師	1	0	3																																																																																																																													
	(業務補助) 看護師	0	0	0																																																																																																																													
	(専門業務) 看護補助者	1	0	1																																																																																																																													
	(業務補助) 看護補助者	0	0	0																																																																																																																													
項目/年度	R4	R5	R6																																																																																																																														
薬剤師	0	0	0																																																																																																																														
臨床検査技師	0	0	0																																																																																																																														
臨床工学技士	0	0	0																																																																																																																														
診療放射線技師	0	1	0																																																																																																																														
理学療法士	2	2	1																																																																																																																														
作業療法士	1	0	1																																																																																																																														
言語聴覚士	0	0	1																																																																																																																														
管理栄養士	0	0	0																																																																																																																														
社会福祉士	0	1	0																																																																																																																														
項目/年度	R4	R5	R6																																																																																																																														
医師事務作業補助者	1	0	0																																																																																																																														
管理栄養士	3	3	1																																																																																																																														
計	18	24	37																																																																																																																														
項目/年度	R4	R5	R6																																																																																																																														
医療安全管理委員会	12	12	11																																																																																																																														
医療安全対策室会議	12	12	12																																																																																																																														
医療安全対策推進担当者会議	6	6	6																																																																																																																														
看護事故防止委員会	11	12	10																																																																																																																														
院内感染防止対策委員会	12	12	12																																																																																																																														
感染対策室会議	31	38	44																																																																																																																														
新型コロナウイルス対応連絡会議	50	20	0																																																																																																																														

項目 No.	中期計画の取組項目	R6年度計画で特に進捗した取組み/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み/ 課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																																								
		<p>9 医療事故防止等医療安全対策の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> インシデント報告様式(MyWeb)を利用し、毎月のインシデント・アクシデントのまとめと、インシデントレベル3a及び3b以上(事故報告書)について各会議にて分析・検討し、対策立案を行った。また、分析結果及び改善方策について、「医療安全対策室たより」を14回発行し、情報の共有化を図った。 医療安全対策地域連携加算1の算定に伴い、平成30年度から病院間で連携し、相互チェックを行っている。前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染対策のため、病院訪問でのチェックは中止した。1月に自己評価を行い、3月18日開催のWeb会議で確認した。 令和6年度のアクシデントは12件で、前年度と比較して入院延べ人数に対する発生率は低下した。 アクシデント事例はすべてRCA分析を実施、事例の発生要因を共有した。インシデント報告は集計・分析し、同意書の改訂や、治療に伴う看護師の観察基準や手順の改訂を行った。改訂内容は「医療安全たより」にて全職員に報告、周知した。 <p style="text-align: center;">インシデント・アクシデント件数 単位：件</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>インシデント</td> <td>1,229</td> <td>1,223</td> <td>1,114</td> </tr> <tr> <td>アクシデント</td> <td>9</td> <td>8</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,238</td> <td>1,231</td> <td>1,126</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 医療安全管理に関する研修体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 院内掲示板「MyWeb」やeラーニングを活用した全職員研修を行った。 医療安全推進大会では、各部署の業務改善を作成し、院内掲示板「MyWeb」を活用し、全職員が閲覧できる方法で行った。各部署の取組みがよく分かるといった意見が多くあり、インシデントや改善策を周知する良い機会となった。 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目/年度</th> <th colspan="2">R4</th> <th colspan="2">R5</th> <th colspan="2">R6</th> </tr> <tr> <th>回数</th> <th>人数</th> <th>回数</th> <th>人数</th> <th>回数</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療安全全職員研修会</td> <td>2</td> <td>758</td> <td>2</td> <td>776</td> <td>2</td> <td>693</td> </tr> </tbody> </table>	項目/年度	R4	R5	R6	インシデント	1,229	1,223	1,114	アクシデント	9	8	12	計	1,238	1,231	1,126	項目/年度	R4		R5		R6		回数	人数	回数	人数	回数	人数	医療安全全職員研修会	2	758	2	776	2	693	<p>等の活用について情報収集を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和6年度は、遠隔読影システムを導入し、画像を遠隔地の読影事業者へ送信し、読影依頼できる環境を構築した。 <p>8 入退院支援の充実</p> <p>○ 介護支援連携及び共同指導の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 急性期病棟、療養病棟において、本人・家族、在宅関係職種(在宅担当医、訪問看護師、ケアマネジャー、サービス事業所)、施設担当者、担当看護師、退院調整看護師が円滑な在宅療養移行に向けた会議を行った。今後も医療・介護の連携強化を推進していく。 <p style="text-align: center;">連携機関とのカンファレンス件数 単位：件</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>介護支援連携</td> <td>10</td> <td>18</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td>共同指導</td> <td>3</td> <td>11</td> <td>15</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 入院時支援への取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> 入院時支援加算にはつながらなかったが、支援体制を継続している。 <p style="text-align: center;">入院時支援実施件数 単位：件</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支援実施件数</td> <td>241</td> <td>268</td> <td>265</td> </tr> </tbody> </table>	項目/年度	R4	R5	R6	介護支援連携	10	18	32	共同指導	3	11	15	項目/年度	R4	R5	R6	支援実施件数	241	268	265		
項目/年度	R4	R5	R6																																																										
インシデント	1,229	1,223	1,114																																																										
アクシデント	9	8	12																																																										
計	1,238	1,231	1,126																																																										
項目/年度	R4		R5		R6																																																								
	回数	人数	回数	人数	回数	人数																																																							
医療安全全職員研修会	2	758	2	776	2	693																																																							
項目/年度	R4	R5	R6																																																										
介護支援連携	10	18	32																																																										
共同指導	3	11	15																																																										
項目/年度	R4	R5	R6																																																										
支援実施件数	241	268	265																																																										

項目 No.	中期計画の取組項目	R6年度計画で特に進捗した取組み／ 評価結果の反映状況						その他の主な取組み／ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由											
		医療機器学習会	2	14	-	-	-	-													
		薬剤学習会	1	10	1	316	1	130													
		検査学習会	-	-	2	559	1	131													
		臨時研修会	5	47	2	44	-	-													
		放射線研修会	-	-	-	-	1	339													
		新人研修	10	64	8	74	8	62													
		<p>10 院内感染防止対策の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症クラスターの院内発生に対して、原因を状況判断し、感染拡大防止策を講じた。 院内感染防止マニュアルの改訂及び感染管理教育を行った。 <p>【改訂マニュアル】</p> <p>COVID-19 感染対策マニュアル、腸管感染症対策マニュアル、伝染性疾患に係る職員就業制限運用基準</p> <p>感染管理教育の実施状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新入転入職員研修</td> <td>3回 研修医・看護師・コメディカル・事務系職員（標準予防策・感染経路別予防策・職業感染対策）</td> <td>3回 研修医・看護師・コメディカル・事務系職員（標準予防策・感染経路別予防策・職業感染対策）</td> </tr> <tr> <td>東5階病棟専用病棟開設前研修</td> <td>東5階病棟リンクナースによる部署内研修会（COVID-19 対応）</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>全体研修会（感染症対策室主催）</td> <td>感染対策研修会1 「感染症法について～コロナは5類感染症って?!」 個別視聴 374人（参加率 99.2%） 感染対策研修会2 「厚生労働省令和5</td> <td>感染対策研修会1 「厚生労働省令和5年度院内感染対策講習会②標準予防策・感染経路別予防策」 個別視聴 320人 集合研修 40人 (参加率 100%) 感染対策研修会2</td> </tr> </tbody> </table>						項目／年度	R5	R6	新入転入職員研修	3回 研修医・看護師・コメディカル・事務系職員（標準予防策・感染経路別予防策・職業感染対策）	3回 研修医・看護師・コメディカル・事務系職員（標準予防策・感染経路別予防策・職業感染対策）	東5階病棟専用病棟開設前研修	東5階病棟リンクナースによる部署内研修会（COVID-19 対応）	-	全体研修会（感染症対策室主催）	感染対策研修会1 「感染症法について～コロナは5類感染症って?!」 個別視聴 374人（参加率 99.2%） 感染対策研修会2 「厚生労働省令和5	感染対策研修会1 「厚生労働省令和5年度院内感染対策講習会②標準予防策・感染経路別予防策」 個別視聴 320人 集合研修 40人 (参加率 100%) 感染対策研修会2		
項目／年度	R5	R6																			
新入転入職員研修	3回 研修医・看護師・コメディカル・事務系職員（標準予防策・感染経路別予防策・職業感染対策）	3回 研修医・看護師・コメディカル・事務系職員（標準予防策・感染経路別予防策・職業感染対策）																			
東5階病棟専用病棟開設前研修	東5階病棟リンクナースによる部署内研修会（COVID-19 対応）	-																			
全体研修会（感染症対策室主催）	感染対策研修会1 「感染症法について～コロナは5類感染症って?!」 個別視聴 374人（参加率 99.2%） 感染対策研修会2 「厚生労働省令和5	感染対策研修会1 「厚生労働省令和5年度院内感染対策講習会②標準予防策・感染経路別予防策」 個別視聴 320人 集合研修 40人 (参加率 100%) 感染対策研修会2																			

項目 No.	中期計画の取組項目	R6年度計画で特に進捗した取組み/ 評価結果の反映状況		その他の主な取組み/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由
		年度院内感染対策講習会【新型コロナウイルス感染症・新興感染症に関する特別講習会】WEB 受講 研修参加 122 人 個別視聴・資料閲覧 276 人 (参加率 100%) コメディカル対象の抗菌薬適正使用研修会 1 「細菌培養検査の採取方法」 2 「術後感染予防抗菌薬適正使用マニュアルの紹介」	「日本環境感染学会教育ツール Ver. 4 より薬剤耐性菌対策について」 個別視聴・資料閲覧 研修参加 353 人 (参加率 99%) コメディカル対象の抗菌薬適正使用研修会 1 「当院での薬剤耐性菌の分離状況」 MyWeb による個別視聴 研修参加 203 人 (参加率 87. 12%) 2 「薬剤耐性菌検査・見方考え方」 研修参加 170 人 (参加率 79. 81%)			
		グループウェアを利用した情報発信	COVID-19 情報ミニレクチャー (SFTS、麻疹) 百日咳			
		・ ICT ラウンドにより、感染対策環境、感染対策実施状況の定期的な点検を行った。 【外来部門】 室内清掃、整理整頓、手洗い設備管理、個人防護具設置、アルコール手指消毒剤管理、感染性廃棄物管理状況 【病棟】 入院患者の感染症情報周知、汚物処理室管理、点滴作業台環境、感染性廃棄物管理、薬剤保冷库環境、使用器材管理状況 ・ MRSA ・CD 感染症、COVID-19 等の病院内外の感染症流行を受けて、				

項目 No.	中期計画の取組項目	R6年度計画で特に進捗した取組み／ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み／ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由														
		<p>情報共有と院内体制を確認した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 抗菌薬適正使用支援チームカンファレンスによる事例検討、及び病院内外への抗菌薬教育により、抗菌薬適正使用に取り組んだ。(国のAMR(薬剤耐性菌)アクションプランに参画) ・ 手指衛生直接観察の実施、手指消毒自動ディスペンサー増設、手指消毒剤の個人携帯推進、手指消毒剤使用量モニタリングにより、手指衛生を強化した。 																	
02	<p>※ 患者・住民サービスの向上</p> <p>1 待ち時間の改善</p> <p>2 院内環境の快適性の向上</p> <p>3 医療に関する相談体制の充実</p> <p>4 患者中心の医療の提供及び患者満足度の向上</p> <p>5 インフォームド・コンセントの徹底及びセカンドオピニオンの推進</p> <p>6 病院運営に関する情報発信及び意見の反映</p>	<p>3 医療に関する相談体制の充実</p> <p>医療に関する相談体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療相談室について、医療相談カンファレンスを毎週開催し、職員間で情報の共有を図るとともに、月1回医療相談室会議を開催し、兼務職員を含めた全員での情報共有を行った。 ・ 医療安全対策部門や患者サービス向上部門とも連携し、患者やその家族からの医療等に関する相談・苦情や入退院にかかる相談業務に対応した。 ・ 問題事象への発展が懸念されるものは、情報を速やかに幹部へ報告することを徹底し、組織として初期段階での対応が行えるように取り組んだ。 ・ 相談等については、面談中のプライバシーを尊重するなど、個人情報の取り扱いに十分注意し、患者が安心して相談できるよう努めた。 	<p>1 待ち時間の改善等</p> <p>○ 待ち時間対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 看護師及び受付職員が患者の様子を気にかかけ、声かけを行っている。 ・ 緊急患者のため診療時間が遅れそうなときは必ず声かけを行い、患者の不安軽減に努めている。 ・ 診察の遅れについては、診察の進行状況に係る情報を提供している。 ・ 看護師による待合室の巡視(患者の急変や気分不快等の早期発見に努める)と、患者への積極的な声かけを推進。 ・ 椅子の配置を検討し、プライバシーが保たれることのできる空間づくりに努めている。 ・ 患者用Wi-Fiを提供し、患者が待ち時間を有効に活用できるようにすることで、待ち時間によるストレスの緩和を図っている。 ・ 小児科外来における図書コーナーは、新型コロナウイルス感染症対策のため撤去しているが、再開時期を検討中である。 ・ 初診の混雑時は一旦病院外へ出てよいことを説明するなど、待ち時間の過ごし方を検討。 <p>○ 外来診療待ち時間調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和2年度から患者アンケートの中で待ち時間調査を実施し、継続して対策に取り組んでいる。 <p>①「本日の各ブロック受付後、診察までの待ち時間は何分程度だったか」</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">待ち時間</th> <th colspan="2">R5</th> <th colspan="2">R6</th> </tr> <tr> <th>人数</th> <th>割合</th> <th>人数</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	待ち時間	R5		R6		人数	割合	人数	割合						III	継続的な取組みが実施できているが、平年並みの実績と評価。
待ち時間	R5		R6																
	人数	割合	人数	割合															

項目 No.	中期計画の取組項目	R6年度計画で特に進捗した取組み/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み/ 課題及びその改善策(●)					自己 評価	自己評価理由																																												
			<table border="1" data-bbox="1227 252 1700 391"> <tr> <td>1～30分</td> <td>214</td> <td>58%</td> <td>133</td> <td>55%</td> </tr> <tr> <td>31～60分</td> <td>132</td> <td>35%</td> <td>86</td> <td>36%</td> </tr> <tr> <td>61分以上</td> <td>26</td> <td>7%</td> <td>21</td> <td>9%</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>31</td> <td>-</td> <td>18</td> <td>-</td> </tr> </table> <p data-bbox="1227 422 1704 448">②「待ち時間について職員から声かけがあったか」</p> <table border="1" data-bbox="1227 451 1700 625"> <thead> <tr> <th rowspan="2">声かけ</th> <th colspan="2">R5</th> <th colspan="2">R6</th> </tr> <tr> <th>人数</th> <th>割合</th> <th>人数</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>あった</td> <td>248</td> <td>74%</td> <td>176</td> <td>78%</td> </tr> <tr> <td>なかった</td> <td>86</td> <td>26%</td> <td>49</td> <td>22%</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>68</td> <td>-</td> <td>33</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="1227 628 1637 651">※R5年度については、無回答を除いた割合に再計算</p> <p data-bbox="1205 683 1787 769">※待ち時間が1時間を超えたとの回答が9%、職員の声掛けがなかったという回答が22%という結果であり、継続して対策を検討するとともに声かけを実施していく。</p> <p data-bbox="1205 810 1480 833">2 院内環境の快適性の向上</p> <ul data-bbox="1205 836 1787 979" style="list-style-type: none"> 患者サービス向上委員会では、ご意見箱に投函された意見等を院内の掲示板でフィードバックしている。そのほか、院内環境改善について要望等を検討し、改善に努めた。 患者サービス向上委員会が主体となり、院内及び病院周辺の清掃を行った。 <p data-bbox="1227 983 1323 1005">【1回目】</p> <p data-bbox="1249 1008 1688 1031">6月5日 17:00～17:30 参加人数80人</p> <p data-bbox="1227 1034 1323 1056">【2回目】</p> <p data-bbox="1249 1059 1688 1082">9月4日 17:00～17:30 参加人数73人</p> <ul data-bbox="1205 1085 1787 1155" style="list-style-type: none"> 院内ラウンドを4回実施し、院内環境のチェックを行った。 <p data-bbox="1227 1158 1384 1181">【主な改善事項】</p> <ul data-bbox="1205 1184 1787 1430" style="list-style-type: none"> 掲示物の点検、物品の整理整頓、ゴミ拾い、危険物の撤去等 正面玄関に季節の飾り物を設置し、癒しの空間作りに努めた。(端午の節句、七夕、月見、ハロウィン、クリスマス、正月、節分、桃の節句) 個別の栄養管理のため、医師の指示により「栄養管理計画書」を作成し、食事内容及び栄養補給量等について、栄養管理指導を行った。入院患者へ食事内容についての理解を 					1～30分	214	58%	133	55%	31～60分	132	35%	86	36%	61分以上	26	7%	21	9%	無回答	31	-	18	-	声かけ	R5		R6		人数	割合	人数	割合	あった	248	74%	176	78%	なかった	86	26%	49	22%	無回答	68	-	33	-		
1～30分	214	58%	133	55%																																																	
31～60分	132	35%	86	36%																																																	
61分以上	26	7%	21	9%																																																	
無回答	31	-	18	-																																																	
声かけ	R5		R6																																																		
	人数	割合	人数	割合																																																	
あった	248	74%	176	78%																																																	
なかった	86	26%	49	22%																																																	
無回答	68	-	33	-																																																	

項目 No.	中期計画の取組項目	R6年度計画で特に進捗した取組み/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																								
			<p>促すと共に、必要に応じ患者の要望に応えた食事を提供した。</p> <p>栄養管理計画書作成件数・個別指導件数 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画書作成件数</td> <td>897</td> <td>1,041</td> <td>991</td> </tr> <tr> <td>個別 指導</td> <td>入院 194 外来 111</td> <td>145 222</td> <td>142 203</td> </tr> </tbody> </table> <p>4 患者中心の医療の提供及び患者満足度の向上</p> <p>○ カルテ等の医療情報開示</p> <p>・カルテ等の医療情報開示は、診療情報の提供に関する指針等に基づき対応した。</p> <p>カルテ開示請求件数・開示件数 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>請求件数</td> <td>11</td> <td>9</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>開示件数</td> <td>10</td> <td>7</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table> <p>※行政・裁判関連の照会を除く</p> <p>○ 接遇意識の向上</p> <p>・令和6年9月に接遇マナーチェックを実施。委託職員を含む430人に配布、92.1%の回収率であった。</p> <p>マナーチェック結果 単位：%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>態度・表情等</td> <td>95.8</td> <td>96.3</td> <td>94.6</td> </tr> <tr> <td>身だしなみ</td> <td>97.0</td> <td>96.3</td> <td>94.8</td> </tr> <tr> <td>電話対応</td> <td>91.3</td> <td>91.8</td> <td>91.2</td> </tr> </tbody> </table> <p>※「概ねできている」以上の回答割合 ※設問毎の平均割合</p> <p>○ 乳がん検診の早期受診推進</p> <p>・乳がん検診の啓発活動の一環として、問診時に検診受診歴のない方に受診勧奨を積極的に行い、受診者数の増加に努めた。今後も啓発活動を継続して取り組んでいく。</p>	項目／年度	R4	R5	R6	計画書作成件数	897	1,041	991	個別 指導	入院 194 外来 111	145 222	142 203	項目／年度	R4	R5	R6	請求件数	11	9	12	開示件数	10	7	9	項目／年度	R4	R5	R6	態度・表情等	95.8	96.3	94.6	身だしなみ	97.0	96.3	94.8	電話対応	91.3	91.8	91.2		
項目／年度	R4	R5	R6																																										
計画書作成件数	897	1,041	991																																										
個別 指導	入院 194 外来 111	145 222	142 203																																										
項目／年度	R4	R5	R6																																										
請求件数	11	9	12																																										
開示件数	10	7	9																																										
項目／年度	R4	R5	R6																																										
態度・表情等	95.8	96.3	94.6																																										
身だしなみ	97.0	96.3	94.8																																										
電話対応	91.3	91.8	91.2																																										

項目 No.	中期計画の取組項目	R6年度計画で特に進捗した取組み/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																		
			<p>乳がん検診受診者数 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,197</td> <td>1,362</td> <td>1,568</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 退院時アンケート調査の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 11月に退院患者148人を対象に退院時アンケート調査を実施し、98人から回答を得た。(回収率66.2%) 前年度、内容を変更し設問数が多くなったことで回収率が低下したため、令和6年度は設問数を減らして実施。回答率は51.7%から66.2%に向上した。結果は概ね良好であった。 <p>5 インフォームド・コンセントの徹底及びセカンドオピニオンの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 患者及びその家族には、入院時の入院治療計画の提示や、手術・検査の事前説明を行い、かつ規程に基づく同意を得たうえで治療に取り組むなど、インフォームド・コンセントを徹底した。 セカンドオピニオン外来は標榜していないが、一般外来として患者を受け入れている。 <p>セカンドオピニオン実施及び紹介件数 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外来受入</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>他院紹介</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>6 病院運営に関する情報発信及び意見の反映</p> <ul style="list-style-type: none"> 各種アンケートの実施など様々な機会を捉え、患者等から意見を聴取し、これを基に対策を講じた。 <p>○ 退院時アンケート調査の実施【No.02再掲】</p> <ul style="list-style-type: none"> 11月に退院患者148人を対象に退院時アンケート調査を実施し、98人から回答を得た。(回収率66.2%) 前年度、内容を変更し設問数が多くなったことで回収率が低下したため、令和6年度は設問数を減らして実施。回答率は51.7%から66.2%に向上した。結果は概ね良好であつ 	R4	R5	R6	1,197	1,362	1,568	項目/年度	R4	R5	R6	外来受入	0	0	0	他院紹介	0	1	0		
R4	R5	R6																					
1,197	1,362	1,568																					
項目/年度	R4	R5	R6																				
外来受入	0	0	0																				
他院紹介	0	1	0																				

項目 No.	中期計画の取組項目	R6年度計画で特に進捗した取組み/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由
			<p>た。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「ご意見箱」の設置 <ul style="list-style-type: none"> ・ 院内に設置してある「ご意見箱」に投函された意見について、院内の掲示板でフィードバックするなど、患者サービス向上委員会が中心になり改善に努めた。 ・ 御礼、感謝：3件、苦情：24件、要望：7件（計34件）が投函された。ご意見箱の設置場所について、より患者の目に付きやすい救急外来に移動したところ、前年度（計18件）に比べ投函数が大幅に増加した。いただいた意見、要望に真摯に対応し、今後も継続してサービス向上に努める。 ○ 地域住民との交流 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「看護の日」の活動として、患者やその家族・外来受診者を対象に健康チェック（血圧測定、酸素飽和度測定）、ハンドマッサージを行い、地域の人々との交流に努めた。57人の参加があり、アンケート結果も好評であった。（10月11日 9:30～12:00実施） ・ 下呂温泉祭り行事に、救護班として3日間計6人の職員が参加した。（8月1日、2日、3日参加） ・ 地域の代表者等を構成員とする「下呂温泉病院運営協議会」を開催し、病院の財務状況や経営強化プランについて説明し、病院の今後のあり方等について意見交換を行った。（12月5日開催） ○ 病院ホームページの逐次更新 <ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページを逐次更新し、利用者の利便性の向上を図った。 		
03	<p>※ 診療体制の充実</p> <p>1 患者動向や医療需要の変化に即した診療体制の整備・充実</p>		<p>1 患者動向や医療需要の変化に即した診療体制の整備・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 病診連携の強化として、開業医・診療所からの初診・検査予約に対応するため、予約受付を当院の地域連携室で行い、紹介患者のスムーズな対応に努めた。 ・ 外来や救急外来での外国人患者に対応するため、診療科別に翻訳された多言語医療問診票や、通訳用専用端末「ボケトーク」を活用し、円滑な診療体制の維持に努めた。 	III	<p>継続的な取組みが実施できているが、平年並みの実績と評価。</p>

項目 No.	中期計画の取組項目	R6年度計画で特に進捗した取組み／ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み／ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																				
	2 多様な専門職の積極的な活用		<ul style="list-style-type: none"> ・ 疾病、病状に応じたきめ細やかな治療として、引き続き17時以降の夜間透析や小児リハビリテーション、手外科リハビリテーションに取り組んだ。 ・ 嚥下造影検査 (VF) ・嚥下内視鏡検査 (VE) を活用し、摂食嚥下機能評価を実施した。 ・ 心臓リハビリテーションの機器を整備し、前年度から開設、運用を開始している。 <p>リハビリテーション患者実数 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>夜間透析</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>小児リハビリ</td> <td>67</td> <td>64</td> <td>63</td> </tr> <tr> <td>手外科リハビリ</td> <td>35</td> <td>57</td> <td>48</td> </tr> <tr> <td>心臓リハビリ</td> <td>—</td> <td>21</td> <td>44</td> </tr> </tbody> </table> <p>摂食嚥下機能評価件数 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>造影検査 (VF)</td> <td>38</td> <td>45</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>嚥下内視鏡検査 (VE)</td> <td>50</td> <td>55</td> <td>58</td> </tr> <tr> <td>摂食嚥下機能評価入院</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 多様な専門職の積極的な活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高度な専門性を有する医師について、年俸制を活用し、引き続き登用した。 ・ 今度末に定年を迎えた看護師及びコメディカルについて、その専門性を考慮し、再雇用を行った。 	項目／年度	R4	R5	R6	夜間透析	4	5	4	小児リハビリ	67	64	63	手外科リハビリ	35	57	48	心臓リハビリ	—	21	44	項目／年度	R4	R5	R6	造影検査 (VF)	38	45	50	嚥下内視鏡検査 (VE)	50	55	58	摂食嚥下機能評価入院	1	0	2		
項目／年度	R4	R5	R6																																						
夜間透析	4	5	4																																						
小児リハビリ	67	64	63																																						
手外科リハビリ	35	57	48																																						
心臓リハビリ	—	21	44																																						
項目／年度	R4	R5	R6																																						
造影検査 (VF)	38	45	50																																						
嚥下内視鏡検査 (VE)	50	55	58																																						
摂食嚥下機能評価入院	1	0	2																																						
04	<p>※ 近隣の医療機関等との役割分担及び連携</p> <p>1 近隣の医療機関との役割分担の明確化と連携強化による紹介率・逆紹介率の維持・向上</p> <p>2 地域連携クリニカルパスの整備普及</p> <p>3 疾病予防の推進</p>	<p>1 近隣の医療機関との役割分担の明確化と連携強化による紹介率・逆紹介率の維持・向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 近隣の医療機関との連携強化を推進し、地域診療所（かかりつけ医）と当院の役割分担（病診連携）に努めた。 <p>○ 紹介率・逆紹介の状況 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>項目／年度</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医</td> <td>紹介率 (%)</td> <td>35.2</td> <td>38.1</td> <td>43.8</td> </tr> </tbody> </table>		項目／年度	R4	R5	R6	医	紹介率 (%)	35.2	38.1	43.8	<p>2 地域連携クリニカルパスの整備普及</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 当院は、計画管理病院の転院先となる「回復リハビリテーション病院」の一つであるが、東濃地域脳卒中地域連携パスは拠点病院からの依頼がなく、また、東濃地域での回復リハビリテーション病床が充実したこともあるため、依頼があれば対応可能な状況を確認している状況である。 ・ 飛騨地域がん地域連携クリニカルパスにおいても、依頼があれば対応可能な状況は確認している。患者の受入れは可能であるため、今後も東濃地域や飛騨地域の各拠点病院と 	Ⅲ	近隣の医療機関との連携強化を推進し、地域診療所（かかりつけ医）と当院の役割分担に努めている点については評価できるが、項目全体としては平年並みの実績と評価。																										
	項目／年度	R4	R5	R6																																					
医	紹介率 (%)	35.2	38.1	43.8																																					

項目 No.	中期計画の取組項目	R6年度計画で特に進捗した取組み/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み/ 課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																																																			
4	地域の介護・福祉機関との連携強化による地域包括ケアシステムへの貢献	<table border="1"> <tr> <td>科</td> <td>紹介実施件数</td> <td>2,206</td> <td>2,163</td> <td>2,291</td> </tr> <tr> <td></td> <td>逆紹介率 (%)</td> <td>40.2</td> <td>60.3</td> <td>56.8</td> </tr> <tr> <td></td> <td>逆紹介実施件数</td> <td>3,330</td> <td>3,891</td> <td>3,463</td> </tr> <tr> <td>歯科</td> <td>紹介率 (%)</td> <td>42.6</td> <td>54.3</td> <td>53.5</td> </tr> <tr> <td></td> <td>紹介実施件数</td> <td>290</td> <td>338</td> <td>306</td> </tr> <tr> <td></td> <td>逆紹介率 (%)</td> <td>21.4</td> <td>32.5</td> <td>49.6</td> </tr> <tr> <td></td> <td>逆紹介実施件数</td> <td>146</td> <td>203</td> <td>294</td> </tr> </table> <p>○ 下呂市立金山病院及び小坂診療所との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> 下呂市立金山病院からの手術依頼を受けて、医師を派遣するなどの連携体制を整えている。 <ul style="list-style-type: none"> 【外科医】 外来診療（派遣回数0回） 【整形外科医】 手術（派遣回数1回） <p>○ 新型コロナウイルス感染症診療に関する訪問指導</p> <ul style="list-style-type: none"> 下呂市立金山病院に対して、訪問指導を4回実施した。（7月11日、9月2日、12月10日、1月24日） 下呂市立小坂診療所、小坂老人保健施設に対して、訪問指導を1回実施した。（9月27日） 	科	紹介実施件数	2,206	2,163	2,291		逆紹介率 (%)	40.2	60.3	56.8		逆紹介実施件数	3,330	3,891	3,463	歯科	紹介率 (%)	42.6	54.3	53.5		紹介実施件数	290	338	306		逆紹介率 (%)	21.4	32.5	49.6		逆紹介実施件数	146	203	294	<p>の連携に努めていく。</p> <p>地域連携クリニカルパス対応件数 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>東濃地域脳卒中地域連携パス</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>飛騨地域がん地域連携クリニカルパス</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ CKD（慢性腎臓病）予防に取り組む連携パスの普及促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 当院のCKD患者の中には、末期腎不全に近い状態で来院される方や、厳密な食事管理や生活管理が困難な方もおり、連携パスに取り組めないケースが多い。CKD手帳を持参されないケースも多く、人員不足もあってCKD手帳の普及が進まず、現在は電子カルテに記載し継続看護、連携できるよう取り組んでいる。かかりつけ医への連携については診療情報提供書にて実施できている。 <p>単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>継続支援を行ったeGFR30以下の患者数</td> <td>60</td> <td>93</td> <td>41</td> </tr> <tr> <td>うちCKD手帳の利用者数</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>うち腎臓内科受診者数</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>うち透析導入患者数</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>7</td> </tr> </tbody> </table> <p>支援内容：検査記録の記載、生活状況の確認と改善のアドバイス、透析への準備教育</p> <p>3 疾病予防の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 栄養指導を行い、患者の食習慣改善を図る。患者によっては定期的に指導を繰り返し、継続的な支援を行う。 血圧手帳、糖尿病手帳、CKD手帳の記入を促し、生活指導を行い、自己管理能力の向上を図る。 <p>4 地域の介護・福祉機関との連携強化による地域包括ケアシステムへの貢献</p>	項目/年度	R4	R5	R6	東濃地域脳卒中地域連携パス	0	0	0	飛騨地域がん地域連携クリニカルパス	0	1	1	項目/年度	R4	R5	R6	継続支援を行ったeGFR30以下の患者数	60	93	41	うちCKD手帳の利用者数	1	0	1	うち腎臓内科受診者数	6	6	7	うち透析導入患者数	6	6	7		
科	紹介実施件数	2,206	2,163	2,291																																																																				
	逆紹介率 (%)	40.2	60.3	56.8																																																																				
	逆紹介実施件数	3,330	3,891	3,463																																																																				
歯科	紹介率 (%)	42.6	54.3	53.5																																																																				
	紹介実施件数	290	338	306																																																																				
	逆紹介率 (%)	21.4	32.5	49.6																																																																				
	逆紹介実施件数	146	203	294																																																																				
項目/年度	R4	R5	R6																																																																					
東濃地域脳卒中地域連携パス	0	0	0																																																																					
飛騨地域がん地域連携クリニカルパス	0	1	1																																																																					
項目/年度	R4	R5	R6																																																																					
継続支援を行ったeGFR30以下の患者数	60	93	41																																																																					
うちCKD手帳の利用者数	1	0	1																																																																					
うち腎臓内科受診者数	6	6	7																																																																					
うち透析導入患者数	6	6	7																																																																					

項目 No.	中期計画の取組項目	R6年度計画で特に進捗した取組み/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																
			<p>○ 退院前カンファレンスの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 在宅復帰に向けて、本人や家族・リハビリテーション技師・医師・訪問看護師・施設担当者・入退院調整看護師・担当看護師が、リハビリテーションの実施など個別のケースに応じた検討を行った。 入退院調整業務は、本人・家族の思いを尊重しながら実施することに重点を置いて取り組んだ。 <p>会議等開催状況 単位：件</p> <table border="1" data-bbox="1229 533 1776 603"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>退院前カンファレンス</td> <td>157</td> <td>114</td> <td>194</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 訪問看護ステーションとの連携</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和3年度以降は新型コロナウイルス感染症の影響により、認定看護師による訪問看護を除いて実施できていない。対象者が少ない現状ではあるが、今後も継続した看護の提供のため、訪問看護師と協力しながら指導の充実を図る。 <p>訪問看護ステーション連携状況 単位：件</p> <table border="1" data-bbox="1229 887 1776 991"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>訪問看護同行訪問数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>退院後訪問指導数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 平成28年度から、通院が困難な在宅療養を行っている患者に対し、認定看護師による計画的な訪問看護を実施している。 <p>訪問看護・指導実施件数 単位：件</p> <table border="1" data-bbox="1229 1195 1776 1299"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>緩和ケア(退院後指導)</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>褥瘡ケア</td> <td>4</td> <td>9</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 多職種連携の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 下呂市主催「在宅医療・介護連携推進会議」 (9月26日、2月6日：各2人参加) 	項目/年度	R4	R5	R6	退院前カンファレンス	157	114	194	項目/年度	R4	R5	R6	訪問看護同行訪問数	0	0	0	退院後訪問指導数	0	0	6	項目/年度	R4	R5	R6	緩和ケア(退院後指導)	0	2	0	褥瘡ケア	4	9	3		
項目/年度	R4	R5	R6																																		
退院前カンファレンス	157	114	194																																		
項目/年度	R4	R5	R6																																		
訪問看護同行訪問数	0	0	0																																		
退院後訪問指導数	0	0	6																																		
項目/年度	R4	R5	R6																																		
緩和ケア(退院後指導)	0	2	0																																		
褥瘡ケア	4	9	3																																		

項目 No.	中期計画の取組項目	R6年度計画で特に進捗した取組み/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																									
			<ul style="list-style-type: none"> 下呂市主催「下呂市医療介護（障がい）連携 医療相談員会議」（7月23日、9月24日、1月28日：各3人参加） 高山赤十字病院主催の「飛騨地域における2040年に向けた地域連携について」（2月22日：2人参加） 訪問看護ステーションとのカンファレンス（4月18日 4人参加） 下呂市包括支援センターとの意見交換会（6月10日 6人参加） 岐阜県高次脳機能障害協力医療機関ネットワーク会議（1月22日 1人参加） 県立三病院会議（2月26日 1人参加） <p>○ 診療報酬算定への取組み（算定件数） 単位：件</p> <table border="1" data-bbox="1229 683 1776 820"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>介護支援連携指導料</td> <td>10</td> <td>18</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td>退院時共同指導料</td> <td>0</td> <td>11</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>入院支援加算1</td> <td>435</td> <td>312</td> <td>316</td> </tr> </tbody> </table> <p>※介護支援連携指導料：ケアマネージャーとの連携を評価 ※退院時共同指導料：退院時に地域医療機関との連携を評価 ※入院支援加算1：R1年6月から開始（加算2より変更）</p> <ul style="list-style-type: none"> 入院時支援の質向上を目指し、入院時支援加算1の算定に向け取り組んできたが、要件が満たされず算定には至っていない。人員配置を行い、算定に向けて継続して取り組む。 <p>5 療養病床の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和5年8月に療養病床を設置し、長期的な療養が必要とされる患者の受入れを強化した。他の病床（急性期、地域包括ケア、回復期リハビリテーション病床）とも連携し、少子高齢化が進む下呂地域のニーズに合わせた医療を提供した。 <p>○療養病床の状況 単位：人、%</p> <table border="1" data-bbox="1200 1326 1615 1425"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延べ患者数</td> <td>4,872</td> <td>5,630</td> </tr> <tr> <td>稼働率</td> <td>35.0</td> <td>75.5</td> </tr> </tbody> </table>	項目/年度	R4	R5	R6	介護支援連携指導料	10	18	32	退院時共同指導料	0	11	15	入院支援加算1	435	312	316	項目/年度	R5	R6	延べ患者数	4,872	5,630	稼働率	35.0	75.5		
項目/年度	R4	R5	R6																											
介護支援連携指導料	10	18	32																											
退院時共同指導料	0	11	15																											
入院支援加算1	435	312	316																											
項目/年度	R5	R6																												
延べ患者数	4,872	5,630																												
稼働率	35.0	75.5																												

項目 No.	中期計画の取組項目	R6年度計画で特に進捗した取組み/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由												
			<p>6 新興・再興感染症における連携</p> <ul style="list-style-type: none"> 下呂感染対策カンファレンスを2回開催し、地域における感染症についての情報共有、標準予防策の推進による感染症対策強化、抗菌薬適正使用の牽引に取り組んだ。 令和6年7月25日開催 令和7年1月16日開催、机上訓練「新興感染症疑い患者の察知から感染症指定医療機関への搬送手続きまで」 														
05	<p>※ 重点的に取り組む医療</p> <p>1 新型コロナウイルス感染症対策の充実</p> <p>2 へき地医療の拠点的功能の充実</p> <p>3 リハビリテーションの推進</p> <p>4 「生活の場の医療」の提供等による地域包括ケアシステムの推進</p> <p>5 地域性を踏まえた予防医療の推進</p>	<p>1 新興・再興感染症対策の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和6年7月30日に岐阜県と医療措置協定を締結し、感染症発生・まん延時に迅速かつ適格な措置を講ずるための専用病床(最大62床)を確保する体制を構築した。 看護部看護体制委員会で感染症即応病床開設マニュアル案と病棟ひっ迫時支援システム案を作成した。 <p>新型コロナウイルス感染症患者受入実績 単位：人</p> <table border="1" data-bbox="568 794 1122 898"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受入患者数</td> <td>338</td> <td>134</td> <td>256</td> </tr> <tr> <td>累計患者数</td> <td>626</td> <td>760</td> <td>1,016</td> </tr> </tbody> </table> <p>※累計患者数は、受入開始(R2年度)以後の累計患者数 ※各年度末時点</p> <ul style="list-style-type: none"> 発熱外来を開設し、PCR検査を9件、抗原検査を2,097件実施した。 新型コロナウイルスワクチンの定期予防接種化に伴い、下呂市と業務委託契約を締結し、住民に対するワクチン接種を毎週金曜日に実施した。(接種人数：のべ20人) <p>2 へき地医療の拠点的功能の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 飛騨南部地域の基幹病院として、不採算部門となりやすい救急・小児・産科医療の提供維持に努めた。 前年度に引き続き、下呂市が実施する産婦支援事業(産後ケア、産婦健診助成事業、母乳育児支援事業)に協力した。また、下呂市から引き続き乳幼児健診業務を受託するなど、地域連携による周産期から、乳幼児期の支援体制づくりに寄与した。 	項目/年度	R4	R5	R6	受入患者数	338	134	256	累計患者数	626	760	1,016		IV	<p>地域における妊娠、出産、子育て支援に対して、下呂市と協力して産前産後における支援の充実・強化を図っている。</p> <p>予防医療の推進については、全体の受診者数の増に加え、特定保健指導については、指導の必要性の説明を強化し、件数・収益ともに増加している。また、新たに禁煙外来を設置するなど、積極的に予防医療推進に努めた。</p> <p>病棟を再編し、病棟ごとの在宅復帰率の平均が8割以上を達成するなど、項目全体で進捗していると評価。</p>
項目/年度	R4	R5	R6														
受入患者数	338	134	256														
累計患者数	626	760	1,016														

項目 No.	中期計画の取組項目	R6年度計画で特に進捗した取組み/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																												
		<p>○ 乳幼児健診等の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4ヶ月児健診 14回、100人 ・ 1歳6ヶ月健診及び歯科健診は、新型コロナウイルス感染症の予防対策により、別会場での実施となったため、当院での実施は中止している。 <p>3 リハビリテーションの推進</p> <p>○ リハビリテーションの実施状況 単位:人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実人数</td> <td>26,754</td> <td>31,193</td> <td>41,881</td> </tr> <tr> <td>疾患別リハ実施数</td> <td>84,820 単位</td> <td>83,694 単位</td> <td>86,302 単位</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 各種認定資格等の取得を推進し、リハビリテーションの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 早期離床の推進、及び退院後の生活を見据えた住環境整備等の指導に当たった。令和6年度はリハビリ退院前後の訪問指導を35件行った。 <p>認定資格等取得者数 単位:人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>呼吸認定療法士</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>早期離床アドバイザー</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>福祉住環境コーディネーター</td> <td>20</td> <td>18</td> <td>19</td> </tr> </tbody> </table> <p>※R5年度:理学療法士、作業療法士、言語聴覚士 計26人 ・認知症ケア専門士2人 ・終末期ケア専門士1人 ・認定褥瘡理学療法士1人 ・岐阜県糖尿病療養指導士1人 ※各年度末累計</p> <p>○ 疾病、病状に応じたきめ細やかなリハビリテーションの実施</p> <p>リハビリテーション患者実数 単位:人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小児リハビリ</td> <td>67</td> <td>64</td> <td>63</td> </tr> <tr> <td>手外科リハビリ</td> <td>35</td> <td>57</td> <td>48</td> </tr> <tr> <td>心臓リハビリ</td> <td>—</td> <td>21</td> <td>44</td> </tr> </tbody> </table> <p>4 「生活の場の医療」の提供等による地域包括ケアシステムの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和6年度における在宅復帰率は、回復期リハビリテーション 	項目/年度	R4	R5	R6	実人数	26,754	31,193	41,881	疾患別リハ実施数	84,820 単位	83,694 単位	86,302 単位	項目/年度	R4	R5	R6	呼吸認定療法士	4	4	4	早期離床アドバイザー	1	0	0	福祉住環境コーディネーター	20	18	19	項目/年度	R4	R5	R6	小児リハビリ	67	64	63	手外科リハビリ	35	57	48	心臓リハビリ	—	21	44	○ アドバンス・ケア・プランニング (ACP) の理解の深化		
項目/年度	R4	R5	R6																																														
実人数	26,754	31,193	41,881																																														
疾患別リハ実施数	84,820 単位	83,694 単位	86,302 単位																																														
項目/年度	R4	R5	R6																																														
呼吸認定療法士	4	4	4																																														
早期離床アドバイザー	1	0	0																																														
福祉住環境コーディネーター	20	18	19																																														
項目/年度	R4	R5	R6																																														
小児リハビリ	67	64	63																																														
手外科リハビリ	35	57	48																																														
心臓リハビリ	—	21	44																																														

項目 No.	中期計画の取組項目	R6年度計画で特に進捗した取組み/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																		
		<p>病棟及び地域包括ケア病棟においては、施設基準に定める7割以上を達成した。</p> <p>病棟別在宅復帰率 単位：％</p> <table border="1" data-bbox="562 387 1128 501"> <thead> <tr> <th rowspan="2">病棟</th> <th rowspan="2">回復期リハビリテーション病棟</th> <th colspan="2">地域包括ケア病棟</th> <th rowspan="2">療養病棟</th> </tr> <tr> <th>東4階</th> <th>西4階</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>復帰率</td> <td>96.1</td> <td>84.3</td> <td>84.9</td> <td>93.8</td> </tr> </tbody> </table> <p>※東4階は療養病棟だが、内18床を地域包括ケア病床、残り20床を療養病床として運用。</p> <p>○ 関係機関との連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 病棟管理・運営委員会において、地域連携室の退院調整活動、入退院支援に関わる算定状況の報告、各病棟の機能に応じた運用の協議を行った。令和6年度は委員会を12回開催した。 ・ 施設における看取り支援については、現在は2施設と連携している。令和6年度の看取り希望者は22人、看取り対象者は20人であった。 <p>○ 地域連携室による地域との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 退院調整業務件数は年度ごとに実施件数の増減はあるものの、引き続き安定した実施が図られている。 <p>退院調整業務件数 単位：件</p> <table border="1" data-bbox="546 1034 994 1102"> <thead> <tr> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>12,109</td> <td>12,519</td> <td>10,570</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の特性である独居や高齢者世帯の増加、認知症患者の増加等により施設入所を希望される患者・家族が増加してきている。また、転院相談の増加に伴い転院の入院件数（調整）も増加している。このような現状を踏まえながら、地域連携室の機能を強化し、在宅復帰、在宅療養への支援を引き続き行っていく。 <p>○ 認定看護師など専門性の高い能力を活用した在宅療養支援の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 緩和ケア外来件数 10件 	病棟	回復期リハビリテーション病棟	地域包括ケア病棟		療養病棟	東4階	西4階	復帰率	96.1	84.3	84.9	93.8	R4	R5	R6	12,109	12,519	10,570	<ul style="list-style-type: none"> ・ ACPの院内浸透に課題が残る中、指針の見直しや症例検討を通じて多職種連携を推進。緩和ケアチーム内での学習を継続し、専門性向上に努めるとともに、下呂市と協力して市民向けACPノート作成を行い、地域啓発に貢献した。今後は職員研修としてACP勉強会を実施し、院内理解の促進と実践の定着を目指す。【No.01再掲】 		
病棟	回復期リハビリテーション病棟	地域包括ケア病棟			療養病棟																		
		東4階	西4階																				
復帰率	96.1	84.3	84.9	93.8																			
R4	R5	R6																					
12,109	12,519	10,570																					

項目 No.	中期計画の取組項目	R6年度計画で特に進捗した取組み/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み/ 課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																
		<ul style="list-style-type: none"> ・ ストーマ外来受診患者数 延べ161人 ・ 褥瘡外来受診患者数 延べ182人 ・ 排尿自立介入患者 患者数9人、ラウンド回数14件、算定件数14件、 退院後外来フォロー3人(33.3%) ・ 摂食機能療法算定 277人、2,832件 ・ 摂食嚥下支援カンファレンス 2人、15件 ・ 摂食嚥下評価入院受入 1件 <p>○ 訪問看護ステーションや施設との連携による在宅療養患者への支援 【緩和ケア】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 訪問看護師とは介入患者への支援を通じ、電話、メール、ケア会議等で連携している。 令和6年度連携：41件 <p>【ストーマ・創傷(褥瘡)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ストーマ 令和6年度連携：44件 ・ 創傷(褥瘡) 令和6年度連携：37件 <p>・ オストメイト(ストーマ保有者)患者会との連携・勉強会について、施設入所や患者の死亡により対象者がいなくなったため、令和2年度以降は実施していない。</p> <p>5 地域性を踏まえた予防医療の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染症の状況を注視し、感染予防に万全を期すことを前提としつつ、開始時期は例年どおり4月第2週目からとして、健診業務を進めた。 ・ 受診者数については、企業健診等の受診者の減少があったが、全体として5.8%増加した。 ・ 下呂市の健診については、平成26年度以降、当院で旧下呂町(6地区)の住民健診を実施し、平成28年度からは乳がん、前立腺がん検診を受託するなど、健康診断受診率の向上と予防医療の推進を図っている。令和6年度のがん検診の受診件数については3,257件と、前年度(3,205件)と比較して増加した。 <p>総合健診センター受診者数 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目/年度	R4	R5	R6					<p>○ 下呂地域認知機能低下予防研究会 令和元年度以降は、新型コロナウイルス感染拡大を受けて、やむなく研究会の開催を見合わせている。</p> <p>認知機能低下予防リハビリ研修(集団指導)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施回数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>実参加者数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>参加クラブ数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>予防リハビリ指導(院内個別指導)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目/年度	R4	R5	R6	実施回数	0	0	0	実参加者数	0	0	0	参加クラブ数	0	0	0	項目/年度	R4	R5	R6						
項目/年度	R4	R5	R6																																		
項目/年度	R4	R5	R6																																		
実施回数	0	0	0																																		
実参加者数	0	0	0																																		
参加クラブ数	0	0	0																																		
項目/年度	R4	R5	R6																																		

項目 No.	中期計画の取組項目	R6年度計画で特に進捗した取組み/ 評価結果の反映状況			その他の主な取組み/ 課題及びその改善策(●)			自己 評価	自己評価理由
		1日ドック	1,259	1,432	1,678	症例数	0	0	0
		1日+MRI	46	37	36	延べ実施数	0	0	0
		生活習慣病予防健診	2,095	2,087	2,400				
		下呂市がん検診	1,924	1,556	1,636				
		下呂市特定・すこやか健診	529	573	604				
		定期健診(下呂温泉病院、 下呂看護専門学校)	634	673	380				
		下呂市肝炎ウイルス検査	42	48	60				
		その他(企業健診他)	703	809	839				
		合計	7,232	7,215	7,633				
		検査別受診者数 単位:人							
		項目/年度	R4	R5	R6				
		脳MRI	94	119	111				
		胸部CT	96	86	111				
		腹部CT	102	84	109				
		全身MRI・CT	22	19	11				
		大腸CT	0	1	0				
		もの忘れドック	3	2	2				
		計	317	311	344				
		健康診断収益の推移 単位:千円(税抜)							
		項目/年度	R4	R5	R6				
		収益金額	102,499	110,761	124,323				
		<ul style="list-style-type: none"> ・特定保健指導について、当日の初回面談をスムーズに行うため、前日の情報収集により対象者を予測し、採血結果を優先的に出すとともに、指導の必要性の説明を強化した結果、前年度と比較して、全体の実施件数・収益ともに上昇した。 ・保険者別の特定保健指導実施率は、全ての項目で前年度と比較して上昇している。教職員については、オンラインによる遠隔指導の実施により堅調に推移しており、協会けんぽ(全国健康保険協会)については、初回面談を積極的に行ったことで、3年連続で実施率が上昇している。 							

項目 No.	中期計画の取組項目	R6年度計画で特に進捗した取組み/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み/ 課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																																						
		<p>特定保健指導実績 単位：件・千円（税抜）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実数</td> <td>153</td> <td>221</td> <td>241</td> </tr> <tr> <td>収益金額</td> <td>2,803</td> <td>3,927</td> <td>3,929</td> </tr> </tbody> </table> <p>※収益金額：「健康診断収益」に含まれている。</p> <p>特定保健指導実施率 単位：％</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県職員</td> <td>90.9</td> <td>93.3</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>県警察職員</td> <td>100</td> <td>83.3</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>教職員</td> <td>79.3</td> <td>81.8</td> <td>88.9</td> </tr> <tr> <td>協会けんぽ</td> <td>45.9</td> <td>68.8</td> <td>72.5</td> </tr> <tr> <td>市町村職員</td> <td>68.8</td> <td>85.0</td> <td>88.9</td> </tr> </tbody> </table> <p>・令和3年度から協会けんぽ（全国健康保険協会）から「健診実施機関による未治療者への受診勧奨業務」を受託。生活習慣病予防健診の結果、要治療と判定されながら医療機関を受診していない未治療者に対し受診を勧奨し、重症化予防に取り組んだ。（令和6年度末で受託終了）</p> <p>・令和6年10月からは「健診結果通知後の要治療者等に対する受診勧奨業務」を開始。生活習慣病予防健診の結果に基づき、健診結果の通知後に、服薬中又は受診済みの者を除く対象者へ受診を勧奨し、重症化予防に取り組んでいる。</p> <p>未治療者への受診勧奨 単位：件・千円（税抜）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受診勧奨件数</td> <td>36</td> <td>61</td> <td>57</td> </tr> <tr> <td>収益金額</td> <td>80</td> <td>135</td> <td>113</td> </tr> </tbody> </table> <p>※収益金額：「健康診断収益」に含まれている。</p> <p>要治療者等に対する受診勧奨 単位：件・千円（税抜）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受診勧奨件数</td> <td>75</td> </tr> <tr> <td>収益金額</td> <td>150</td> </tr> </tbody> </table>	項目／年度	R4	R5	R6	実数	153	221	241	収益金額	2,803	3,927	3,929	項目／年度	R4	R5	R6	県職員	90.9	93.3	100.0	県警察職員	100	83.3	100.0	教職員	79.3	81.8	88.9	協会けんぽ	45.9	68.8	72.5	市町村職員	68.8	85.0	88.9	項目／年度	R4	R5	R6	受診勧奨件数	36	61	57	収益金額	80	135	113	項目／年度	R6	受診勧奨件数	75	収益金額	150			
項目／年度	R4	R5	R6																																																								
実数	153	221	241																																																								
収益金額	2,803	3,927	3,929																																																								
項目／年度	R4	R5	R6																																																								
県職員	90.9	93.3	100.0																																																								
県警察職員	100	83.3	100.0																																																								
教職員	79.3	81.8	88.9																																																								
協会けんぽ	45.9	68.8	72.5																																																								
市町村職員	68.8	85.0	88.9																																																								
項目／年度	R4	R5	R6																																																								
受診勧奨件数	36	61	57																																																								
収益金額	80	135	113																																																								
項目／年度	R6																																																										
受診勧奨件数	75																																																										
収益金額	150																																																										

項目 No.	中期計画の取組項目	R6年度計画で特に進捗した取組み/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																																														
		<p>※収益金額：「健康診断収益」に含まれている。</p> <p>・ 禁煙支援の推進として、令和6年6月に禁煙外来を開設し、禁煙指導や禁煙補助薬等による治療を行っている。初年度は28人が受診し、19人が治療終了。禁煙達成率は88.2%であった。</p> <p>禁煙外来受診実績 単位：人・千円（税抜）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受診者数</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>収益金額</td> <td>431</td> </tr> </tbody> </table> <p>禁煙達成率 単位：人・%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/治療結果</th> <th>禁煙成功</th> <th>禁煙失敗</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>治療終了者数</td> <td>17</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>禁煙達成率</td> <td>88.2</td> <td>11.8</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 下呂市歯科健診・検診受診者数 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ぎふ・さわやか口腔健診</td> <td>10</td> <td>11</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>歯周疾患検診</td> <td>5</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>妊婦歯科検診</td> <td>0</td> <td>5</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>6 在宅療養支援体制の構築及び推進</p> <p>○ 地域包括ケア病棟・療養病棟</p> <p>・ 病床機能の役割分担として、4月に療養病棟38床の内、18床を地域包括ケア病床に、地域包括ケア2病棟の内、東3階病棟を急性期病棟に移行した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">病棟名・区分/年度</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">東 4 階</td> <td>延べ患者数</td> <td>4,391人</td> <td>4,872人</td> <td>4,679人</td> </tr> <tr> <td>病床利用率</td> <td>31.7%</td> <td>35.0%</td> <td>71.2%</td> </tr> <tr> <td>在宅復帰率</td> <td>65.5%</td> <td>80.0%</td> <td>84.3%</td> </tr> <tr> <td>平均在院日数</td> <td>13.9日</td> <td>49.6日</td> <td>28.9日</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">西 4</td> <td>延べ患者数</td> <td>7,920人</td> <td>9,017人</td> <td>10,478人</td> </tr> <tr> <td>病床利用率</td> <td>57.1%</td> <td>64.8%</td> <td>75.5%</td> </tr> </tbody> </table>	項目/年度	R6	受診者数	28	収益金額	431	項目/治療結果	禁煙成功	禁煙失敗	治療終了者数	17	2	禁煙達成率	88.2	11.8	項目/年度	R4	R5	R6	ぎふ・さわやか口腔健診	10	11	17	歯周疾患検診	5	2	2	妊婦歯科検診	0	5	1	病棟名・区分/年度		R4	R5	R6	東 4 階	延べ患者数	4,391人	4,872人	4,679人	病床利用率	31.7%	35.0%	71.2%	在宅復帰率	65.5%	80.0%	84.3%	平均在院日数	13.9日	49.6日	28.9日	西 4	延べ患者数	7,920人	9,017人	10,478人	病床利用率	57.1%	64.8%	75.5%			
項目/年度	R6																																																																		
受診者数	28																																																																		
収益金額	431																																																																		
項目/治療結果	禁煙成功	禁煙失敗																																																																	
治療終了者数	17	2																																																																	
禁煙達成率	88.2	11.8																																																																	
項目/年度	R4	R5	R6																																																																
ぎふ・さわやか口腔健診	10	11	17																																																																
歯周疾患検診	5	2	2																																																																
妊婦歯科検診	0	5	1																																																																
病棟名・区分/年度		R4	R5	R6																																																															
東 4 階	延べ患者数	4,391人	4,872人	4,679人																																																															
	病床利用率	31.7%	35.0%	71.2%																																																															
	在宅復帰率	65.5%	80.0%	84.3%																																																															
	平均在院日数	13.9日	49.6日	28.9日																																																															
西 4	延べ患者数	7,920人	9,017人	10,478人																																																															
	病床利用率	57.1%	64.8%	75.5%																																																															

項目 No.	中期計画の取組項目	R6年度計画で特に進捗した取組み/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み/ 課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																							
		<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">階</td> <td>在宅復帰率</td> <td>78.1%</td> <td>82.7%</td> <td>84.9%</td> </tr> <tr> <td>平均在院日数</td> <td>30.8日</td> <td>22.2日</td> <td>25.5日</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">東 3 階</td> <td>延べ患者数</td> <td>5,717人</td> <td>6,352人</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>病床利用率</td> <td>55.9%</td> <td>62.0%</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>在宅復帰率</td> <td>87.2%</td> <td>88.3%</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>平均在院日数</td> <td>21.0日</td> <td>14.3日</td> <td>—</td> </tr> </table> <p>※東4階病棟は、R2年10月からR5年5月7日まで新型コロナウイルス感染症病床として、R5年8月からは療養病棟として稼働 ※在宅復帰率は6ヶ月平均の3月末値</p> <p>○ 継続看護連絡会議</p> <ul style="list-style-type: none"> 定期的に退院調整フローチャートの見直しを行い、外来で継続看護が必要な患者についての会議を開催することとし、前年度と比較して会議実施件数が増加した。今後も継続して取り組む。 <p>会議実施件数 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>継続看護連絡会議</td> <td>43</td> <td>54</td> <td>67</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 介護者及び関係施設職員に係る褥瘡指導</p> <ul style="list-style-type: none"> 皮膚・排泄ケア認定看護師が、メール、電話、手紙などによる相談に対応した(81件)。また、関係施設職員に対する褥瘡ケア指導を行った。 <p>褥瘡ケア指導件数 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>33</td> <td>41</td> <td>40</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 外来継続用紙</p> <ul style="list-style-type: none"> 外来部門では、「外来継続用紙」を基に患者情報を共有し、継続看護が必要な患者に対して、生活指導を行うことができた。 認知症が進行し調子が悪くなった、施設に入ったなどの理由により、対象者が減少している。 外来看護師による在宅療養に係る指導等を実施し、指導料等を算定した。 <ul style="list-style-type: none"> ①在宅療養指導料 227件(全て外来) ②在宅自己注射指導管理料 494件(外来477、入院中17) 	階	在宅復帰率	78.1%	82.7%	84.9%	平均在院日数	30.8日	22.2日	25.5日	東 3 階	延べ患者数	5,717人	6,352人	—	病床利用率	55.9%	62.0%	—	在宅復帰率	87.2%	88.3%	—	平均在院日数	21.0日	14.3日	—	項目/年度	R4	R5	R6	継続看護連絡会議	43	54	67	R4	R5	R6	33	41	40		
階	在宅復帰率	78.1%		82.7%	84.9%																																							
	平均在院日数	30.8日	22.2日	25.5日																																								
東 3 階	延べ患者数	5,717人	6,352人	—																																								
	病床利用率	55.9%	62.0%	—																																								
	在宅復帰率	87.2%	88.3%	—																																								
	平均在院日数	21.0日	14.3日	—																																								
項目/年度	R4	R5	R6																																									
継続看護連絡会議	43	54	67																																									
R4	R5	R6																																										
33	41	40																																										

項目 No.	中期計画の取組項目	R6年度計画で特に進捗した取組み／ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み／ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由												
		<p>③ストーマ処置 168件 (全て外来)</p> <p>④寝たきり管理料 98件 (外来70、入院中28)</p> <p>⑤がん患者指導料(口) 24件 (外来2、入院中22)</p> <p>○ 在宅患者訪問看護・指導(専門性の高い訪問看護実施)</p> <p>・平成28年度から、通院が困難な在宅療養を行っている患者に対し、計画的な訪問看護を実施している。【No.04再掲】</p> <p>訪問看護・指導実施件数 単位:件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>緩和ケア(退院後指導)</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>褥瘡ケア</td> <td>4</td> <td>9</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <p>7 周産期医療の推進</p> <p>地域における妊娠、出産、子育て支援に対して、下呂市と協力して、産前産後における支援の充実・強化を図った。</p> <p>・飛騨圏域における年1回の飛騨保健所母子保健推進協議会に参加した。</p> <p>・下呂市からの妊産婦に対する相談を随時受け付け、連携支援を行っている。</p> <p>・産婦に対して2週間、4週間後の健診を実施した。</p> <p>・ハイリスク母子に対する保健師・地域担当者による連携支援</p> <p>・「母と子の健康サポート支援事業」連携件数:5件</p> <p>・産後ケア事業「宿泊型」の利用:3件</p>	項目/年度	R4	R5	R6	緩和ケア(退院後指導)	0	2	0	褥瘡ケア	4	9	3			
項目/年度	R4	R5	R6														
緩和ケア(退院後指導)	0	2	0														
褥瘡ケア	4	9	3														

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

看護師の再就職支援者研修の実績 (●)

- 看護協会主催の再就職支援者研修実施病院の登録は継続し、研修会の実施を2回計画したものの、応募者がいなかったため実施しなかった。
引き続き実施できるように務める。

コメディカル等の医療従事者の確保 (●)

- 薬剤師の欠員（1人）が充足できていない状態が続いていることについて、令和6年度は次のような取組みを行った。
 - ・ 病院のホームページにおいて、薬剤師の業務紹介や病院見学受入れなどについて、情報発信を行っている。
 - ・ 採用試験の募集要項を、日本病院薬剤師会や岐阜県病院薬剤師会のホームページに掲載しPRを行った。
また、薬学部のある全国の大学へ募集要項を送付した。
 - ・ 岐阜薬科大学へ薬剤師募集の案内をした。

中期目標	<p>1-2 調査研究事業 法人で提供する医療の質の向上及び県内の医療水準の向上を図るための調査及び研究を行うことを求める。</p> <p>※ 調査及び臨床研究等の推進 先進医療の各分野において、疫学調査、診断技法・治療法の開発及び臨床応用のための研究を推進すること。 岐阜県及び飛騨圏域南部の医療の水準の向上に寄与する観点から、大学等の研究機関や企業との共同研究などを促進すること。</p> <p>※ 診療情報等の活用 電子カルテシステム等をより有効に活用し、標準化された診療データの収集・分析を行い医療の質の向上を図るとともに、他の医療機関への情報提供を行うこと。</p>
------	--

項目No.	中期計画の取組項目	R6年度計画で特に進捗した取組み／ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み／ 課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由												
06	<p>※ 調査及び臨床研究等の推進</p> <p>1 臨床研究及び治験の推進</p>		<p>1 臨床研究及び治験の推進</p> <p>・ 薬剤部・事務局（契約締結、収入・研究予算管理）で役割分担し治験実施体制を整えている。また、受託実績に応じて研究に必要な予算を実施診療科に配分する仕組みにより、受託件数の増加を促している。</p> <p>受託実績 ※契約締結数 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>使用成績調査</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>特定使用成績調査</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	項目／年度	R4	R5	R6	使用成績調査	1	1	1	特定使用成績調査	1	1	1	III	継続的な取組みが実施できているが、平年並みの実績と評価。
項目／年度	R4	R5	R6														
使用成績調査	1	1	1														
特定使用成績調査	1	1	1														
07	<p>※ 診療情報等の活用</p> <p>1 医療総合情報システムの更新</p> <p>2 電子カルテ等に蓄積された各種医療データの有効活用</p> <p>3 集積したエビデンスのカンファレンス、臨床研修、臨床研究等への活用</p>		<p>1 医療総合情報システムの更新</p> <p>令和3年5月21日に「地方独立行政法人岐阜県立下呂温泉病院医療総合情報システム更新業務委託」を締結、ワーキング・システム構築を開始し、令和4年1月から稼働。</p> <p>2 電子カルテ等に蓄積された各種医療データの有効活用</p> <p>院内の医療従事者等の依頼に基づき、以下のデータ出力を行い、各種医療データの活用を図った。</p> <p>【週次処理】</p> <ul style="list-style-type: none"> 重症度、医療・看護必要度確認リスト <p>【月次処理】</p> <ul style="list-style-type: none"> 重症度、医療・看護必要度確認リスト 重症度短期除外患者 退院支援計画書立上げ件数報告 薬剤使用量 褥瘡・看護診断リスト 病棟別看護診断名称集計 死亡退院患者一覧 	III	継続的な取組みが実施できているが、平年並みの実績と評価。												

項目 No.	中期計画の取組項目	R6年度計画で特に進捗した取組み/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由												
			<ul style="list-style-type: none"> ・ 放射線画像レポート等既読確認 ・ 急性期退院先リスト ・ セコムスマッシュデータアップ ・ 後発医薬品使用体制加算報告 ・ 包括病棟入院経路 ・ 放射線患者・VSRAD 一覧 <p>【年次処理】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 内科救急症例一覧 ・ 病床機能報告 ・ 循環器疾患診療実態調査 ・ 施設基準に係る手術一覧 ・ 外科手術症例報告 ・ 歯科口腔外科受診症例報告 ・ 岐阜県への定期報告 <p>3 集積したエビデンスのカンファレンス、臨床研修、臨床研究等への活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各々の症例に関して、カンファレンスで集積したエビデンスに基づき評価を行い、成績の向上に努めた。 ・ 各研究機関等が運営している医療情報データベースに参加し、症例の登録を行うとともに、データの活用と分析を進めている。 <p>医療情報データベース等への症例登録状況 単位：件</p> <table border="1" data-bbox="1232 1013 1765 1117"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>NCD (外科)</td> <td>97</td> <td>123</td> <td>150</td> </tr> <tr> <td>全国がん登録</td> <td>136</td> <td>138</td> <td>171</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・ 年報 48 号を発刊、業績・経営概要・論文等について前年度の実績をまとめ、関係機関等に配布した。 	項目/年度	R4	R5	R6	NCD (外科)	97	123	150	全国がん登録	136	138	171		
項目/年度	R4	R5	R6														
NCD (外科)	97	123	150														
全国がん登録	136	138	171														

中期 目標	<p>1-3 教育研修事業 医療の高度化・多様化に対応できるよう、医師・看護師・コメディカルを目指す学生及び救急救命士に対する教育、臨床研修医の受入れ等、地域の医療従事者への教育及び研修を実施することを求める。</p> <p>※ 医師の卒後臨床研修等の充実 臨床研修指定病院として、臨床研修医の積極的な受入れを行うとともに、岐阜県医師育成・確保コンソーシアム等と連携し、臨床研修医の資質向上を図ること。 また、専門研修プログラムの連携施設として、専攻医の育成に努めること。</p> <p>※ 医師・看護師・コメディカルを目指す学生、救急救命士等に対する教育の実施 医学生、岐阜県立看護大学、岐阜県立衛生専門学校、岐阜県立看護専門学校等の学生及びコメディカルを目指す学生の実習の受入れ、救急救命士の病院実習など地域医療従事者への研修の実施及び充実を図ること。</p>
----------	--

項目 No.	中期計画の取組項目	R6年度計画で特に進捗した取組み/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由												
08	<p>※ 医師の卒後臨床研修等の充実</p> <p>1 臨床研修医の養成及び県内定着化の促進</p> <p>2 専攻医の育成等</p>		<p>1 臨床研修医の養成及び県内定着化の促進</p> <p>・ 協力型の臨床研修病院として、岐阜大学地域医療医学センター及び岐阜県総合医療センター等から地域医療研修を行う臨床研修医の受入れを行うとともに、基幹型の臨床研修病院として、計4人の臨床研修医について、研修を行った。</p> <p>○ 研修の状況</p> <p>・ 1年次研修医 2人 【実施した研修科】 内科14ヶ月、救急科6ヶ月、外科1ヶ月、精神科2ヶ月、整形外科1ヶ月</p> <p>・ 2年次研修医 2人 【実施した研修科】 内科12ヶ月、救急科5ヶ月、麻酔科2ヶ月、小児科2ヶ月、地域医療2ヶ月、整形外科1ヶ月</p> <p>初期臨床研修医数（各年3.31時点） 単位：人</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>研修医数</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>うち当該年度の新規採用数</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> <p>※R4年度新規採用者の内1人は中途再開者（1年次）</p> <p>2 専攻医の育成等</p> <p>・ 岐阜大学地域医療医学センター及び岐阜県総合医療センター等との密接な連携のもとに当院を実践フィールドと</p>	項目/年度	R4	R5	R6	研修医数	4	4	4	うち当該年度の新規採用数	2	2	2	IV	継続的に臨床研修医及び専攻医等の受入れを実施しており、特に臨床研修医の採用については、医師確保が困難な状況のなか、計画通りの確保ができており、進捗していると評価。
項目/年度	R4	R5	R6														
研修医数	4	4	4														
うち当該年度の新規採用数	2	2	2														

項目 No.	中期計画の取組項目	R6年度計画で特に進捗した取組み／ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み／ 課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																																								
			<p>し、地域医療を担う医師の養成を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見学を希望する医学生24人に対し、積極的に地域医療に関する説明を行った。 ・平成29年度及び令和3年度に採用した初期臨床研修医2人については、研修修了後、当院の内科医として引き続き勤務している。 ・令和4年度に採用した初期臨床研修医1人については、研修修了後、当院の産業医業務に従事している。 ・専門研修プログラムの連携施設として、岐阜県総合医療センター等から、内科専攻医4人、外科専攻医1人を受け入れた。 																																																										
09	<p>※ 医師・看護師・コメディカルを目指す学生、救急救命士等に対する教育の実施</p> <p>1 医学生、看護学生及びコメディカルを目指す学生の実習受入れ</p> <p>2 救急救命士の病院実習など地域医療従事者への研修の実施及び充実</p>		<p>1 医学生、看護学生及びコメディカルを目指す学生の実習受入れ</p> <p>○ 医学生の実習受入実績 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>岐阜大学医学部</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>20</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 看護学生の実習受入実績 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>下呂看護専門学校</td> <td>71</td> <td>64</td> <td>43</td> </tr> <tr> <td>岐阜県立看護大学</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>76</td> <td>69</td> <td>50</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ コメディカル等の実習受入実績 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>理学療法士</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>作業療法士</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>言語聴覚士</td> <td>7</td> <td>6</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>薬剤師</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	項目／年度	R4	R5	R6	岐阜大学医学部	0	0	20	その他	0	0	0	計	0	0	20	項目／年度	R4	R5	R6	下呂看護専門学校	71	64	43	岐阜県立看護大学	4	4	6	その他	1	1	1	計	76	69	50	項目／年度	R4	R5	R6	理学療法士	1	1	5	作業療法士	0	0	3	言語聴覚士	7	6	1	薬剤師	0	2	0	IV	<p>継続的に看護師、コメディカル等を目指す学生の実習受入れを実施したほか、新たに医学生の実習受入れを実施するなど、進捗したと評価。</p>
項目／年度	R4	R5	R6																																																										
岐阜大学医学部	0	0	20																																																										
その他	0	0	0																																																										
計	0	0	20																																																										
項目／年度	R4	R5	R6																																																										
下呂看護専門学校	71	64	43																																																										
岐阜県立看護大学	4	4	6																																																										
その他	1	1	1																																																										
計	76	69	50																																																										
項目／年度	R4	R5	R6																																																										
理学療法士	1	1	5																																																										
作業療法士	0	0	3																																																										
言語聴覚士	7	6	1																																																										
薬剤師	0	2	0																																																										

項目 No.	中期計画の取組項目	R6年度計画で特に進捗した取組み/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																																																						
			<table border="1"> <tr> <td>臨床検査技師</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>管理栄養士</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>社会福祉士</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>医療事務</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>8</td> <td>11</td> <td>10</td> </tr> </table> <p>○ 特別支援学校生徒の実習受入実績 単位：人</p> <table border="1"> <tr> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> </tr> <tr> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> </table> <p>○ 下呂市内中学生の体験受入れ ・市内の1中学校から、将来医療に携わりたいと考えている生徒計4人の職業体験を受け入れた。</p> <p>○ 弥富看護学校の見学実習について ・小児看護学実習1人を受け入れた。</p> <p>○ 下呂看護専門学校への講師派遣 単位：人</p> <table border="1"> <tr> <td>項目/年度</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> </tr> <tr> <td>医師、歯科医師</td> <td>6</td> <td>8</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>8</td> <td>7</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>19</td> <td>21</td> <td>21</td> </tr> </table> <p>2 救急救命士の病院実習など地域医療従事者への研修の実施及び充実</p> <p>○ 下呂市消防本部の救急救命士の病院実習受入実績 単位：人</p> <table border="1"> <tr> <td>項目/年度</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> </tr> <tr> <td>就業前教育実習</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>再教育実習</td> <td>26</td> <td>24</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>薬剤投与実習</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>消防学校病院実習</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>26</td> <td>28</td> <td>28</td> </tr> </table>	臨床検査技師	0	0	1	管理栄養士	0	0	0	社会福祉士	0	2	0	医療事務	0	0	0	計	8	11	10	R4	R5	R6	0	1	0	項目/年度	R4	R5	R6	医師、歯科医師	6	8	7	看護師	8	7	9	コメディカル	5	6	5	計	19	21	21	項目/年度	R4	R5	R6	就業前教育実習	0	2	2	再教育実習	26	24	24	薬剤投与実習	0	2	2	消防学校病院実習	0	0	0	計	26	28	28		
臨床検査技師	0	0	1																																																																								
管理栄養士	0	0	0																																																																								
社会福祉士	0	2	0																																																																								
医療事務	0	0	0																																																																								
計	8	11	10																																																																								
R4	R5	R6																																																																									
0	1	0																																																																									
項目/年度	R4	R5	R6																																																																								
医師、歯科医師	6	8	7																																																																								
看護師	8	7	9																																																																								
コメディカル	5	6	5																																																																								
計	19	21	21																																																																								
項目/年度	R4	R5	R6																																																																								
就業前教育実習	0	2	2																																																																								
再教育実習	26	24	24																																																																								
薬剤投与実習	0	2	2																																																																								
消防学校病院実習	0	0	0																																																																								
計	26	28	28																																																																								

項目 No.	中期計画の取組項目	R6年度計画で特に進捗した取組み/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由
			<ul style="list-style-type: none"> ○ 下呂市消防本部との情報交換会 ・ 医療従事者と下呂市消防本部の救急救命士との情報交換会を令和6年度は3回実施し、搬送事例の症例検討などを行い、知識の向上に寄与するとともに、相互理解の促進を図った。 		

中期 目標	<p>1-4 地域支援事業 地域の医療機関から信頼され、必要とされる病院となるよう、地域への支援を行うことを求める。</p> <p>※ 地域医療への支援 地域の医療機関との連携・協力体制の充実に図り、高度医療機器の共同利用の促進、開放病床の利用促進など、飛騨圏域南部の基幹病院として地域医療の確保に努めること。 医師不足地域、医師不足診療科、へき地診療所等への、人的支援を含む診療支援を充実させ、地域医療の確保に努めること。 へき地医療拠点病院として、代診医師の派遣や巡回診療などへき地診療所等への支援機能を充実させること。 また、岐阜大学医学部及び岐阜県総合医療センターと連携し、地域医療に携わる医師の養成を図ること。</p> <p>※ 社会的な要請への協力 法人が有する人材や知見を提供し、鑑定、調査、講師派遣などの社会的な要請に対し、積極的な協力を行うこと。</p> <p>※ 保健医療情報の提供・発信 県民の健康意識の醸成を図るため、専門医療情報など病院が有する保健医療情報について、県民を対象とした公開講座やホームページなどにより情報発信を行うこと。</p>
----------	--

項目 No.	中期計画の取組項目	R6年度計画で特に進捗した取組み/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																								
10	<p>※ 地域医療への支援</p> <p>1 地域医療水準の向上</p> <p>2 医師不足地域や医師不足診療科、へき地診療所等への人的支援を含む診療支援による地域医療の確保</p> <p>3 地域医療に携わる医師の養成</p>	<p>1 地域医療水準の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域医師会との情報交換会を原則第1木曜日に実施し、地域開業医との連携を図るとともに、下呂市医師会主催の学術講演会において当院の医師が座長・演者を務めるなどしている。 二次医療体制の課題検討のため、下呂市及び中津川市消防本部との情報交換会を開催。症例発表や講演会を通して地域メディカルコントロールの連携を強化し、救急医療体制の充実強化を図った。なお、令和3年度以降、コロナ禍対策のため、参加人数の抑制を行い、中津川市消防本部の隊員の参加は見合わせていたが、今年度からWebを利用することにより、下呂市の各消防署や中津川市消防本部の隊員のリモート参加ができるようになった。 岐阜県メディカルコントロール協議会飛騨支部の感染防止部会に感染管理認定看護師が参加し、共同して病院前救護における感染対策活動を行っている。 <ul style="list-style-type: none"> 定例会議：2回（6月21日、1月10日） 感染防止マニュアル改訂 下呂消防署（北消防署、小坂分署）の訪問指導：9月18日 <p>○ 高度医療機器の地域開業医等の共同利用状況 単位：件</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MRI</td> <td>131</td> <td>109</td> <td>104</td> </tr> <tr> <td>CT</td> <td>17</td> <td>19</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>心エコー</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	項目/年度	R4	R5	R6	MRI	131	109	104	CT	17	19	13	心エコー	0	0	0	<p>2 医師不足地域や医師不足診療科、へき地診療所等への人的支援を含む診療支援による地域医療の確保</p> <p>○ へき地・医師不足診療所等への医師出向による人的支援状況</p> <p>診療所等派遣状況（延べ日数） 単位：日</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>出向先</th> <th>診療科</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">東白川村国保診療所</td> <td>外科</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>整形外科</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>東白川村母子健康センター</td> <td>産婦人科</td> <td>22</td> <td>20</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>22</td> <td>20</td> <td>23</td> </tr> </tbody> </table>	出向先	診療科	R4	R5	R6	東白川村国保診療所	外科	0	0	0	整形外科	0	0	0	東白川村母子健康センター	産婦人科	22	20	23	合計		22	20	23	III	継続的な取組みが実施できているが、平年並みの実績と評価。
項目/年度	R4	R5	R6																																										
MRI	131	109	104																																										
CT	17	19	13																																										
心エコー	0	0	0																																										
出向先	診療科	R4	R5	R6																																									
東白川村国保診療所	外科	0	0	0																																									
	整形外科	0	0	0																																									
東白川村母子健康センター	産婦人科	22	20	23																																									
合計		22	20	23																																									

項目 No.	中期計画の取組項目	R6年度計画で特に進捗した取組み／ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み／ 課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																				
		<table border="1"> <tr> <td>頸動脈エコー</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>148</td> <td>128</td> <td>117</td> </tr> </table> <p>○ 開放型病床の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療資源の有効な活用と地域連携の推進を目指し、地元医師会及び歯科医師会等の協力のもと、平成24年度から開放型病床5床を運用しており、地域のかかりつけ医と当院の主治医と共同で治療を行うことにより、患者にとって安心できる医療の提供が図られている。 <p>開放型病床利用実績 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者数（実人数）</td> <td>45</td> <td>48</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td>利用延べ人数</td> <td>493</td> <td>453</td> <td>288</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 地域医療に携わる医師の養成</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の状況を注視し、感染予防に万全を期すことを前提としつつ、前年度に引き続き下呂市のがん検診等を受託し、へき地医療拠点病院として地域医療を支援した。 <p>○ 下呂市がん検診等の受診者数：【No.05再掲】 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>下呂市がん検診</td> <td>1,924</td> <td>1,556</td> <td>1,636</td> </tr> <tr> <td>下呂市特定・すこやか健診</td> <td>529</td> <td>573</td> <td>604</td> </tr> <tr> <td>下呂市肝炎ウイルス検査</td> <td>42</td> <td>48</td> <td>60</td> </tr> </tbody> </table>	頸動脈エコー	0	0	0	計	148	128	117	項目／年度	R4	R5	R6	利用者数（実人数）	45	48	32	利用延べ人数	493	453	288	項目／年度	R4	R5	R6	下呂市がん検診	1,924	1,556	1,636	下呂市特定・すこやか健診	529	573	604	下呂市肝炎ウイルス検査	42	48	60			
頸動脈エコー	0	0	0																																						
計	148	128	117																																						
項目／年度	R4	R5	R6																																						
利用者数（実人数）	45	48	32																																						
利用延べ人数	493	453	288																																						
項目／年度	R4	R5	R6																																						
下呂市がん検診	1,924	1,556	1,636																																						
下呂市特定・すこやか健診	529	573	604																																						
下呂市肝炎ウイルス検査	42	48	60																																						
11	※ 社会的な要請への協力		<ul style="list-style-type: none"> 下呂市が実施する「障がい児療育支援事業」に対し、当院から専門知識を有する理学療法士を派遣し、社会的な要請に応えた。 <p>【派遣件数】 単位：件</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7</td> <td>9</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>	R4	R5	R6	7	9	10	Ⅲ	継続的な取組みが実施できているが、平年並みの実績と評価。																														
R4	R5	R6																																							
7	9	10																																							
12	※ 保健医療情報の提供・発信 1 公開講座、医療相談会等の定期的開催		<p>1 公開講座、医療相談会等の定期的開催</p> <p>○ 公開講座等の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 「第1回下呂市民公開講座」を下呂市民会館で開催。 	Ⅲ	市民公開講座の開催、病院広報誌の発行再開は評価できるが、項目全体としては平年並みの実績と評価。																																				

項目 No.	中期計画の取組項目	R6年度計画で特に進捗した取組み／ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み／ 課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																								
	2 保健医療、健康管理等の情報提供		<p>『怖〜い、高血圧！心不全にならないために』 (令和7年2月8日、約80人来場)</p> <p>○ 感染症対策 ・ 地域施設での感染対策研修会を行った。 ・ デイサービスやすらぎセンター四美 (8月8日) ・ 訪問看護ステーション虹 (10月28日) ・ 下呂市社会福祉協議 (12月4日)</p> <p>2 保健医療、健康管理等の情報提供</p> <p>○ 病院広報の状況 ・ 病院広報誌「健康と医療」について、令和2年度以降発行を見合わせていたが、今年8月発行の「夏号」(通算39号)から発行を再開。関係医療機関へ配布、院内待合に設置したほか、ホームページへの掲載を行った。</p> <p>○ 地域医師会等主催講演会への参加 ・ 地域医師会等主催の学術講演会等に当院医師・看護師等が講師、座長として参加。症例検討や講演などにより、医療情報の提供を行った。</p> <p>講師等で参加した回数・人数 単位：回・人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>回数</td> <td>6</td> <td>14</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>15</td> <td>21</td> <td>16</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 看護学生インターンシップ ・ 令和6年度は5人を受け入れた。</p> <p>インターンシップ実施状況 単位：回・人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施回数</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>参加人数</td> <td>6</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>	項目／年度	R4	R5	R6	回数	6	14	12	人数	15	21	16	項目／年度	R4	R5	R6	実施回数	1	1	1	参加人数	6	4	5		
項目／年度	R4	R5	R6																										
回数	6	14	12																										
人数	15	21	16																										
項目／年度	R4	R5	R6																										
実施回数	1	1	1																										
参加人数	6	4	5																										

項目 No.	中期計画の取組項目	R6年度計画で特に進捗した取組み/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由												
			<p>○ ふれあい看護体験</p> <p>・ 中学生、高校生を対象に年2回実施。前年度までは新型コロナウイルス感染症予防のため、患者と直接触れ合う体験を控えていたが、令和6年度は入院患者に足浴を行い、直接触れ合う貴重な機会を提供できた。</p> <p>中学生対象：8月2日 高校生対象：8月9日</p> <p>看護体験参加人数 単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中学生対象</td> <td>0</td> <td>17</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>高校生対象</td> <td>14</td> <td>16</td> <td>14</td> </tr> </tbody> </table>	項目/年度	R4	R5	R6	中学生対象	0	17	13	高校生対象	14	16	14		
項目/年度	R4	R5	R6														
中学生対象	0	17	13														
高校生対象	14	16	14														

中期 目標	1-5 災害等発生時における医療救護 災害等発生時において、医療救護活動の拠点機能を担うとともに、医療スタッフの派遣など医療救護を行うことを求める。
	※ 医療救護活動の拠点機能の充実 災害等発生時には、岐阜県地域防災計画に基づき、患者の受入れや医療スタッフの現地派遣など本県あるいは飛騨圏域南部の医療救護活動の拠点機能を担うこと。
	※ 被災時における病院機能維持のための準備体制の充実 大規模災害等緊急事態を想定した業務継続計画（BCP）の継続的な見直し及び訓練等を実施すること。
	※ 新型インフルエンザ等発生時における役割の発揮 新型インフルエンザ等（新型インフルエンザ等対策特別措置法第2条に規定する新型インフルエンザ等をいう。以下同じ。）発生時には、指定地方公共機関として、業務計画に基づき、新型インフルエンザ等の患者の外来診療・入院の受入れ、重症症例の治療等を行うこと。

項目 No.	中期計画の取組項目	R6年度計画で特に進捗した取組み/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由
13	※ 医療救護活動の拠点機能の充実 1 医療救護活動の拠点機能の充実 2 原子力災害時における医療従事者派遣要請への対応		1 医療救護活動の拠点機能の充実 ・災害発生時には「岐阜県立下呂温泉病院災害対策マニュアル」により、不測の事態に対応できるよう体制を構築している。 ・下呂市消防本部と協力して消防・避難訓練を実施し、消火活動や避難誘導等における各事項を検証した。併せて、消防計画における休日・夜間の活動体制を定着させ、火災発生時の対応について確認した。 【消防・避難訓練】 第1回訓練 4月2日 参加者9人 第2回訓練 11月8日 参加者29人 ・病院は、屋上ヘリポートや免震構造を備えているため、災害時の医療救護活動拠点として、更なる災害対応機能の充実に向け、引き続き体制整備等の検討を行った。 2 原子力災害時における医療従事者派遣要請への対応 ・病院移転に併せ、サーベイメータ（放射線測定器）を整備し、放射線身体汚染検査によるスクリーニングを行える体制を引き続き整えている。 ・サーベイメータ（放射線測定器）の定期点検を行い、スクリーニング検査に対応できるよう確認した。	III	継続的な取組みが実施できているが、平年並みの実績と評価。

項目 No.	中期計画の取組項目	R6年度計画で特に進捗した取組み/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由
14	※ 被災時における病院機能維持のための準備体制の充実 1 診療継続計画の継続的な見直し及び訓練等の実施 2 診療情報バックアップシステムの適正管理		1 診療継続計画の継続的な見直し及び訓練等の実施 ・令和2年7月に発生した豪雨災害を踏まえ、職員の安否情報を簡易かつ迅速に把握するため、令和4年度から安否確認サービスを導入している。令和6年度は同サービスを使用した安否状況確認訓練を7月24日に実施した。 ・令和6年5月23日、下呂市内で最大震度6強を想定した机上防災訓練を実施し、災害時の初動対応について確認を行った。また、訓練実施後、令和6年能登半島地震の際に当院から災害支援ナースとして派遣された看護師から活動状況報告が行われ、受援体制の構築の重要性等について確認した。 2 診療情報バックアップシステムの適正管理 ・大規模災害時におけるデータ損失のリスクに対応するため、当院の電子カルテのバックアップを岐阜県立多治見病院に、また、岐阜県総合医療センター及び岐阜県立多治見病院の電子カルテバックアップは、当院のサーバ室内に平成27年度に設置し、診療情報のバックアップシステムを構築している。当院は令和4年1月から新システムが稼働しており、新システムのバックアップは岐阜県総合医療センターへ設置している。 ・サイバー攻撃による災害を想定し、データ損失を防ぐため、令和6年度は電子カルテのランサムウェア対策バックアップ装置を構築した。 3 被災後の感染症流行を想定した、平時からの感染対策教育の充実と感染対策備品の備蓄及び使用ルールの構築 ・災害等で断水した場合の手指衛生をウェットティッシュ清拭で代替するシステムを構築した。(啓発、物品のローリングストック)	III	継続的な取組みが実施できているが、平年並みの実績と評価。
15	※ 新型インフルエンザ等発生時における役割の発揮 1 新型インフルエンザ等発生時における受入れ体制の整備 2 業務計画等に基づく職員への教	1 新型インフルエンザ等発生時における受入れ体制の整備 ・令和6年7月30日に岐阜県と医療措置協定を締結し、感染症発生・まん延時に迅速かつ適格な措置を講ずるための専用病床(最大62床)を確保する体制を構築した。【No.5再掲】	2 業務計画等に基づく職員への教育及び訓練の実施 ・4月に災害対策マニュアルを改正し、職員に周知を図った。 ・令和2年7月に発生した豪雨災害を踏まえ、職員の安否情報を簡易かつ迅速に把握するため、令和4年度から安	IV	引き続き、新興感染症拡大に備えて、全室個室等のメリットを活用し、感染症患者専用病床の確保に努めるなど、進捗したと評価。

項目 No.	中期計画の取組項目	R6年度計画で特に進捗した取組み／ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み／ 課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由												
	育及び訓練の実施	<p>新型コロナウイルス感染症患者受入実績【No. 05 再掲】単位：人</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受入患者数</td> <td>338</td> <td>134</td> <td>256</td> </tr> <tr> <td>累計患者数</td> <td>626</td> <td>760</td> <td>1,016</td> </tr> </tbody> </table> <p>※累計患者数は、受入開始（R2年度）以後の累計患者数 ※各年度末時点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国や岐阜県から支給された个人防护具を有効に活用するため、種類、数量を細かく在庫管理し、適正使用につなげるとともに、支給要望の照会に対応した。 ・飛騨地域新型インフルエンザ等感染症対応訓練（10月11日）に参加した。 	項目／年度	R4	R5	R6	受入患者数	338	134	256	累計患者数	626	760	1,016	<p>否認サービスを導入している。令和6年度は同サービスを使用した安否状況確認訓練を7月24日に実施した。 【No. 14 再掲】</p>		
項目／年度	R4	R5	R6														
受入患者数	338	134	256														
累計患者数	626	760	1,016														

項目 No.	中期計画の取組項目	R6年度計画で特に進捗した取組み/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由									
			3 ICT（情報通信技術）の活用等による経営効率の高い業務執行体制の充実 ・ 人事給与システム・旅費システム等を活用し、事務の合理化を引き続き進めた。											
17	※ 診療体制及び人員配置の弾力的運用 1 人員配置の検証及び弾力的運用 2 効果的な体制による医療の提供		1 人員配置の検証及び弾力的運用 ○ 柔軟な勤務配置 ・ 平日の毎朝、各看護単位の代表者が参加する部署間の支援調整会議を開催し、入院患者数や重症度、医療・看護必要度等の情報を共有することで、状況に応じた迅速な支援体制を実現した。 <table border="1" data-bbox="1234 663 1664 762"> <thead> <tr> <th colspan="2">全部署の支援時間数</th> <th>単位：時間</th> </tr> <tr> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4,040.7</td> <td>3,639.5</td> <td>3,940.9</td> </tr> </tbody> </table> ○ 病棟薬剤業務実施加算(●) ・ 薬剤師に係る欠員充当が実施できず、病棟毎に担当者を配置できない状況が続いており、加算の取得に至っていない。今後も欠員を充当し、加算を取得することを目指す。 2 効果的な体制による医療の提供 ○ 多様な勤務形態の非常勤職員の活用 ・ 看護部では看護協会 WLB（仕事とプライベートのバランスをとれるようにする取組み）の推進を受けて、働きやすい職場作りを目指し勤務体制の検討に取り組んだ。 ・ 退職後、非常勤職員として再雇用した看護師の勤務時間の希望を聞き、時間に見合った部署に配置した。 ・ 医師事務作業補助（医療クラーク）については、計画的な配置により、医師の事務負担の軽減を図った。 医師事務作業補助体制加算 20 対 1 ○ 医事業務専門職の増員による受付業務等の直営化 ・ 平成 27 年度以降、外来受付と診断書受付等業務を直営化し、効率的な業務遂行を図っている。	全部署の支援時間数		単位：時間	R4	R5	R6	4,040.7	3,639.5	3,940.9	III	継続的な取組みが実施できているが、平年並みの実績と評価。
全部署の支援時間数		単位：時間												
R4	R5	R6												
4,040.7	3,639.5	3,940.9												

項目 No.	中期計画の取組項目	R6年度計画で特に進捗した取組み／ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み／ 課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																
			医師事務作業補助者数ほか(各年度 3.31 時点) 単位：人 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師事務作業補助者</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>医療サービス業務専門職</td> <td>25</td> <td>24</td> <td>23</td> </tr> </tbody> </table>	項目／年度	R4	R5	R6	医師事務作業補助者	8	8	9	医療サービス業務専門職	25	24	23						
項目／年度	R4	R5	R6																		
医師事務作業補助者	8	8	9																		
医療サービス業務専門職	25	24	23																		
18	※ 人事評価システムの早期構築及び運用		<ul style="list-style-type: none"> 意欲をもって働くことができる人事評価制度の構築に向けて、平成28年度から、事務局非常勤職員に対する人事評価の本格施行及び事務局常勤職員に対する試行を行っている。平成29年度から、事務局常勤職員に加え、メディカル職員に対しても年間を通した人事評価（試行）を行っている。令和6年度も引き続き人事評価（試行）を継続実施し、人事評価制度の構築に向けて取り組んだ。 看護部においては、引き続きクリニカルリーダー評価により、昇格・昇任・特別昇給を実施した。 非常勤看護補助者については、評価表を作成し、自己評価後に師長・部長等面接を行うことにより、意欲向上に努めた。組織が望む能力を示したことで、各自が振り返り、教育への希望や業務への提案をするなどの姿勢がみられるようになった。 	III	継続的な取組みが実施できているが、平年並みの実績と評価。																
19	※ 事務部門の専門性の向上 1 事務部門職員の確保及び育成		1 事務部門職員の確保及び育成 【医事課職員】 ・ 診療報酬に係る研修（2回） 全職員対象 【総務課・経営企画課職員】 ・ 甲種防火管理新規講習 2人 ・ 県公安委員会主催不当要求防止責任者講習（選任時講習） 1人 ・ 障害者職業生活相談員資格認定講習 1人 事務職員の状況（各年度 3.31 時点） 単位：人 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>プロパー</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>県派遣</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>25</td> </tr> </tbody> </table>	項目／年度	R4	R5	R6	プロパー	20	20	20	県派遣	5	5	5	計	25	25	25	III	継続的な取組みが実施できているが、平年並みの実績と評価。
項目／年度	R4	R5	R6																		
プロパー	20	20	20																		
県派遣	5	5	5																		
計	25	25	25																		

項目 No.	中期計画の取組項目	R6年度計画で特に進捗した取組み/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由
20	※ コンプライアンス（法令等の遵守）の徹底 1 業務執行におけるコンプライアンスの徹底		1 業務執行におけるコンプライアンスの徹底 ・ 医療情報の情報開示については、診療情報の提供に関する指針に基づき、適切な対応を行った。 ・ 定期的実施される監事監査及び内部監査の実施により、チェック体制を確立し、コンプライアンスの遵守を徹底した。	III	継続的な取組みが実施できているが、平年並みの実績と評価。
21	※ 適切な情報管理 1 情報セキュリティ監視機能の充実・強化等 2 情報セキュリティに対する意識向上		1 情報セキュリティ監視機能の充実・強化等 ・ 令和4年1月の医療総合情報システム稼働と共に、IT資産管理システムが稼働した。また、令和6年度は事務系端末用にIT資産管理システムを導入した。 ・ 情報セキュリティ基本方針及び情報セキュリティ運用管理指針を施行、運用している。 2 情報セキュリティに対する意識向上 ・ 全職員に対する情報セキュリティ研修を実施した。	III	継続的な取組みが実施できているが、平年並みの実績と評価。

過去の報告書に記載された改善方策のうちその実施が完了した旨の記載がないものがある場合には、その実施状況

病棟薬剤業務実施加算 (●)

- 各病棟に薬剤師を配置し薬剤管理指導業務を含めた業務を展開している。また、担当薬剤師によるカンファレンスなどを行い資質向上にも努めている。しかし、薬剤師の欠員補充ができず急性期病棟に週20時間薬剤師を配置することができず、実施加算の算定要件を満たさないため実施できない。引き続き人員の確保に努める。

中期 目標	2-2 業務運営の見直しや効率化による収支の改善 地方独立行政法人制度の特徴を生かした業務内容の見直しや効率化を通じて、収支の改善を図ることを求める。
	<p>※ 多様な契約手法の導入 透明性・公平性の確保に十分留意しつつ、複数年契約など多様な契約手法を導入し、契約事務の合理化を図ること。</p> <p>※ 収入の確保 病床利用率など収入確保につながる数値目標を設定し、地域社会のニーズに即した病院経営を行うことにより、その達成を図ること。 また、人間ドックや健康診断等の積極的な受入れ、未収金の発生防止や早期回収により収入の確保に努めること。 さらに、安定した経営を維持するため、国の医療制度改革や診療報酬改定等に速やかに対応すること。</p> <p>※ 費用の削減 医薬品・診療材料等の購入方法の見直し、在庫管理の徹底、後発医薬品（ジェネリック医薬品）の採用などにより費用の節減に努めること。</p>

項目 No.	中期計画の取組項目	R6年度計画で特に進捗した取組み/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由								
22	<p>※ 多様な契約手法の導入</p> <p>1 調達の効率化及び適正な契約事務の実施</p>	<p>1 調達の効率化及び適正な契約事務の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 部門長及び実施業者と内容及び必要性を精査しつつ、保守委託契約とスポット保守の比較検討を進めた。 ・ 引き続き、比較・分析を継続の上、複数年契約等も含めた有利な契約方針を決定していく必要がある。 ・ 電気需給契約について、燃料費単価は上昇しているものの、国及び電力会社の負担軽減策により、電気料金は前年度と同程度を維持した。 <p style="text-align: center;">単位：千円（税込）</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電気料金</td> <td>126,846</td> <td>99,564</td> <td>103,527</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器のメンテナンス費用（保守委託）については、前年度に引き続き、内容及び必要性を精査し、スポット契約への切り換え等により経費削減に努めている。 ・ 次の維持管理業務については、3年間の複数年契約を締結しており、引き続き経費の節減に努めている。 警備業務、機械、監視室等保安全管理及び電話交換業務、建物清掃委託業務、給食業務、臨床検査業務 	項目/年度	R4	R5	R6	電気料金	126,846	99,564	103,527		III	契約内容を見直し、複数年契約やスポット契約への切り替え等により経費削減を図っているが、項目全体としては、平年並みの実績と評価。
項目/年度	R4	R5	R6										
電気料金	126,846	99,564	103,527										
23	<p>※ 収入の確保</p> <p>1 効率的な病床管理及び医療機器の効果的な活用</p> <p>2 人間ドック等の着実な受入れ</p>		<p>1 効率的な病床管理及び医療機器の効果的な活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 病棟ごとの稼働率を常に把握し、病院全体として効率的な活用ができるよう、病床管理の徹底を引き続き実施した。 	III	外来収益は減少したが、入院収益の増益、延べ患者数の増、各病棟機能の連携、人間ドックの着実な実施により、平年並みの実績と								

項目 No.	中期計画の取組項目	R6年度計画で特に進捗した取組み/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																								
	3 未収金の発生防止対策等 4 医療資源を最大限活用した施設 基準等の適正管理 5 国の医療制度改革や診療報酬改 定等の迅速な対応		<ul style="list-style-type: none"> 地域包括ケア病棟については、令和2年度中盤から1棟を新型コロナウイルス感染症の専用病床としていたが、5月に地域包括ケア病棟としての運用を再開した。週2回定例転棟会議を実施するとともに、急性期病棟の稼働状況に合わせて臨時の転棟会議を実施するなど、効率的な運用を行った。 令和5年8月から、療養病棟の運用を開始。急性期病棟、地域包括ケア病棟、回復期病棟、療養病棟の各機能をうまく連携させ、急性期から在宅復帰までの一貫した医療を提供していく。 <p>病床利用率 単位：％</p> <table border="1" data-bbox="1227 647 1774 928"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>東5階(休床)</td> <td>57.1</td> <td>50.7</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>西5階</td> <td>62.0</td> <td>63.2</td> <td>73.8</td> </tr> <tr> <td>東4階(療養/包括ケア)</td> <td>31.7</td> <td>35.0</td> <td>73.8</td> </tr> <tr> <td>西4階(包括ケア)</td> <td>57.1</td> <td>64.8</td> <td>75.5</td> </tr> <tr> <td>東3階(包括ケア/療養)</td> <td>55.9</td> <td>62.0</td> <td>64.7</td> </tr> <tr> <td>西3階(回復期)</td> <td>73.9</td> <td>81.9</td> <td>91.4</td> </tr> <tr> <td>全体</td> <td>55.3</td> <td>58.2</td> <td>75.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>※届出病床数206床 ※東5階：R6.4～ 休床 ※東4階：H26.9～ 地域包括ケア病棟移行 R2.10～ 新型コロナウイルス感染症専用病棟(特例期間) R5.8～ 療養病棟移行 R6.4～ 療養病棟のまま、内18床を地域包括病床移行 R7.3～ 22床を西4階と併合、残り16床を休床 ※西4階：H28.3～ 地域包括ケア病棟移行 R7.3～ 東4のうち22床を併合し1病棟扱い(地域包括) ※東3階：H30.10～ 地域包括ケア病棟移行 R6.4～ 急性期病棟移行 R7.3～ 療養病棟移行</p> <p>その他の指標 (単位 収益:千円、単価:円)</p> <table border="1" data-bbox="1227 1385 1774 1423"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目／年度	R4	R5	R6	東5階(休床)	57.1	50.7	—	西5階	62.0	63.2	73.8	東4階(療養/包括ケア)	31.7	35.0	73.8	西4階(包括ケア)	57.1	64.8	75.5	東3階(包括ケア/療養)	55.9	62.0	64.7	西3階(回復期)	73.9	81.9	91.4	全体	55.3	58.2	75.5	項目／年度	R4	R5	R6					評価。	評価。
項目／年度	R4	R5	R6																																										
東5階(休床)	57.1	50.7	—																																										
西5階	62.0	63.2	73.8																																										
東4階(療養/包括ケア)	31.7	35.0	73.8																																										
西4階(包括ケア)	57.1	64.8	75.5																																										
東3階(包括ケア/療養)	55.9	62.0	64.7																																										
西3階(回復期)	73.9	81.9	91.4																																										
全体	55.3	58.2	75.5																																										
項目／年度	R4	R5	R6																																										

項目 No.	中期計画の取組項目	R6年度計画で特に進捗した取組み/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み/ 課題及びその改善策(●)				自己 評価	自己評価理由
			入院延べ患者数	41,561	43,862	46,316		
			1日平均入院患者数	113.9	119.8	126.9		
			平均在院日数	15.1	13.2	12.4		
			入院収益	1,730,408	1,736,953	1,808,236		
			入院診療単価	41,635	39,600	39,041		
			外来延べ患者数	62,482	59,381	60,707		
			1日平均外来患者数	257.1	244.4	249.8		
			外来収益	847,230	779,720	772,176		
			外来診療単価	13,560	13,131	12,722		
			室料差額収益(特別室)	3,810	3,255	6,085		
			受託検査収益	3,384	2,087	1,629		
			※平均在院日数は急性期病棟より算出し、重症者・回復期病棟等を除く					
			※金額は税込で表示					
			2 人間ドック等の着実な受入れ					
			・感染症の流行状況を注視し、感染予防に万全を期すことを前提としながら、人間ドック等の着実な実施に努めた。					
			・受診者数は全体として堅調に推移し1日ドックは前年度を上回る結果となった。また下呂市の各種検診・検査についても前年を上回ることができた。					
			1日ドック 受診者数 【No.05再掲】 単位：人					
			項目/年度	R4	R5	R6		
			1日ドック	1,259	1,432	1,678		
			1日ドック+MRI	46	37	36		
			下呂市がん検診等 受診者数 【No.05再掲】 単位：人					
			項目/年度	R4	R5	R6		
			下呂市がん検診	1,924	1,556	1,636		
			下呂市特定・すこやか検診	529	573	604		
			下呂市肝炎ウイルス検査	42	48	60		
			3 未収金の発生防止対策等					
			・未収金の発生防止については、入院費用等に高額療養費					

項目 No.	中期計画の取組項目	R6年度計画で特に進捗した取組み/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由												
			<p>限度額適用（現物給付）や出産育児一時金直接支払制度の利用等を促進するとともに、医療相談を通じて各種福祉制度の申請を支援し、市の福祉担当者との連携を図ることで、公的制度を活用した診療費負担の軽減に努めた。また、コンビニ収納やクレジットカード支払いを導入し、患者の利便性を向上させることで、未収金の発生防止に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 発生した未収金に対しては、早期から相談に応じ、分納制度や前述のコンビニ収納、クレジットカード支払い等を紹介し、支払いしやすい環境を整えた。また、必要に応じて電話や臨宅による催告を実施したほか、弁護士との成功報酬型の未収金回収業務委託契約を締結し、回収困難な事例については弁護士を介して未収金回収を行った。 <p>【参考】未収金の発生状況と未収額 単位：件・千円</p> <table border="1" data-bbox="1218 746 1700 853"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>各年度件数</td> <td>258</td> <td>205</td> <td>177</td> </tr> <tr> <td>未収金額</td> <td>4,225</td> <td>6,061</td> <td>3,837</td> </tr> </tbody> </table> <p>※未収金額は、翌年度4月末までに納付されなかった金額</p> <p>4 医療資源を最大限活用した施設基準等の適正管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 届出を行っている施設基準の一覧表を作成し、施設基準の適正管理を行うための体制整備を行った。 令和6年度は以下の施設基準の届出を行った。 <p><基本></p> <ul style="list-style-type: none"> 医師事務作業補助体制加算1（20対1） 令和6年5月1日取得（25対1からの変更） 認知症ケア加算2 令和6年5月1日取得（加算3からの変更） 歯科外来診療感染対策加算4 令和6年6月1日取得 看護補助体制充実加算1（急性期看護補助体制加算の注4） 令和6年6月1日取得 地域包括ケア入院医療管理料2、看護職員配置加算 	項目／年度	R4	R5	R6	各年度件数	258	205	177	未収金額	4,225	6,061	3,837		
項目／年度	R4	R5	R6														
各年度件数	258	205	177														
未収金額	4,225	6,061	3,837														

項目 No.	中期計画の取組項目	R6年度計画で特に進捗した取組み/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由
			<ul style="list-style-type: none"> 令和6年6月1日取得(東4階病棟18床) ・後発医薬品使用体制加算3 令和6年9月1日取得 ・急性期一般入院基本料3(東3階病棟) 令和6年10月1日取得(基本料2からの変更) ・医療DX推進体制整備加算 令和6年12月1日取得 ・一般病棟入院基本料3(東3階病棟) 令和7年3月1日取下げ(病棟再編) ・療養病棟入院基本料1(東3階病棟28床) 令和7年3月1日取得 (病棟再編、東4階38床からの変更) ・地域包括ケア入院医療管理料2、看護職員配置加算 令和7年3月1日取下げ(病棟再編) ・協力対象施設入所者入院加算 令和7年3月1日取得 <p><特掲></p> <ul style="list-style-type: none"> ・輸血適正使用加算 令和6年4月1日取下げ ・ストーマ合併症加算 令和6年6月1日取得 ・歯科技工士連携加算1及び光学印象歯科技工士連携加算 令和6年6月1日取得 ・外来・在宅ベースアップ評価料(1) 令和6年6月1日取得 ・歯科外来・在宅ベースアップ評価料(1) 令和6年6月1日取得 ・入院ベースアップ評価料80 令和6年6月1日取得 ・ニコチン依存症管理料 令和6年6月1日取得 ・連携充実加算(外来腫瘍化学療法診療料の注8) 令和6年7月1日取得 ・冠動脈CT撮影加算 令和6年7月1日取得 ・入院ベースアップ評価料87 令和6年6月1日取得(評価料80からの変更) 		

項目 No.	中期計画の取組項目	R6年度計画で特に進捗した取組み／ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み／ 課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																
			<ul style="list-style-type: none"> 看護職員処遇改善評価料 63 令和7年1月1日取得（評価料70からの変更） 5 国の医療制度改革や診療報酬改定等の迅速な対応 令和6年度診療報酬改定に対し、当院に合致した病棟編成や管理料、加算などを確認し、算定の可否を分析。施設基準の変更や、新規届出にも取り組んだ。 マイナンバーカードの保険機能付与の促進のため、窓口での口頭による啓発のほか、デジタルサイネージや掲示物での周知等を行った。 																																		
24	※ 費用の削減 1 医薬品・診療材料等の購入方法の見直し及び適正な在庫管理の徹底 2 後発医薬品の使用促進 3 人件費の適正化 4 経営改善に向けた具体的取組に対する全職員の参画意識の醸成	1 医薬品・診療材料等の購入方法の見直し及び適正な在庫管理の徹底 ・ 医薬品・診療材料における物流システム、給食材料における栄養管理システムの活用により重複購入・期限切れによる廃棄物品の削減など適正在庫の実現と在庫圧縮を進め、費用節減に努めたほか、より安価な物品の発掘など、類似物品の切り替えに努めた。 ○ 医業収益に対する材料費比率 単位：％ <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬品費</td> <td>8.3</td> <td>8.9</td> <td>8.2</td> </tr> <tr> <td>診療材料費</td> <td>5.2</td> <td>6.0</td> <td>5.9</td> </tr> <tr> <td>給食材料費</td> <td>0.9</td> <td>1.0</td> <td>1.2</td> </tr> <tr> <td>材料全体</td> <td>14.4</td> <td>16.0</td> <td>15.3</td> </tr> </tbody> </table>	項目	R4	R5	R6	薬品費	8.3	8.9	8.2	診療材料費	5.2	6.0	5.9	給食材料費	0.9	1.0	1.2	材料全体	14.4	16.0	15.3	2 後発医薬品の使用促進 ・ 後発医薬品の使用については、品目ベースで10.0ptの増加、使用量ベースでは19.1ptの増加となった。引き続き、先発医薬品からオンスライズドジェネリック薬への切り替えを中心に、効率的な後発品の採用を考慮していく。 ○ ジェネリック医薬品の採用比率 単位：％ <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>品目ベース</td> <td>10.5</td> <td>12.3</td> <td>13.3</td> </tr> <tr> <td>使用数量ベース</td> <td>42.4</td> <td>50.8</td> <td>69.9</td> </tr> </tbody> </table> ※使用数量ベース 後発医薬品／（後発＋先発医薬品） 3 人件費の適正化 ・ 各部門長において職員の時間外勤務の管理を行い、毎月、時間外勤務が45時間を超過する見込みの職員を把握し、時間外勤務削減に努めた。 4 経営改善に向けた具体的取組に対する全職員の参画意識の醸成 ・ 月1回の管理会議において各部門長に経営概要（業務量、収支状況）を配付し、説明するとともに、院内掲示板「MyWeb」に掲示し、職員の経営意識の向上を図り、費用削減に努めた。 ・ 食材費は令和6年度も高騰が続いており、1日あたりの1人分の価格を抑えることが困難な状況が続いている。食材メーカーや納入業者の選定、食材の見直しを行い、	項目／年度	R4	R5	R6	品目ベース	10.5	12.3	13.3	使用数量ベース	42.4	50.8	69.9	III	前年度に続き後発医薬品の採用比率の増の努めた点は評価できるものの、平年並みの実績と評価。
項目	R4	R5	R6																																		
薬品費	8.3	8.9	8.2																																		
診療材料費	5.2	6.0	5.9																																		
給食材料費	0.9	1.0	1.2																																		
材料全体	14.4	16.0	15.3																																		
項目／年度	R4	R5	R6																																		
品目ベース	10.5	12.3	13.3																																		
使用数量ベース	42.4	50.8	69.9																																		

項目 No.	中期計画の取組項目	R6年度計画で特に進捗した取組み／ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み／ 課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由								
			単価を抑える取組みを進めている。 単位：円（税込） <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>項目／年度</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>食材費／日・人</td> <td>681</td> <td>716</td> <td>796</td> </tr> </tbody> </table> 5 事務事業の見直し ・令和元年度から病院全体で事務事業の見直しに取り組むこととし、各部門等の個別事務に関する事務改善を行うため、各部門へ事業の見直しと経費削減検討項目の洗い出しについて照会、回答をまとめ、以降、継続的に検討を行っている。	項目／年度	R4	R5	R6	食材費／日・人	681	716	796		
項目／年度	R4	R5	R6										
食材費／日・人	681	716	796										
			6 地域型保育事業への移行 ・令和5年度から地域型保育事業所へ移行したことに伴い、下呂市及び中津川市から「子ども・子育て支援保育給付金」を受領し、保育事業の費用負担軽減を図っている。										

3 予算(人件費の見積含む。)、収支計画及び資金計画

中期目標	※ 経常収支比率等 業務運営の改善及び効率化を効果的に進めることで、中期目標期間の各年度の損益計算において、減価償却前収支の黒字化を達成し、中期目標期間の最終年度までに経常収支比率 100%以上を達成すること。 医業収支比率については、同規模の全国自治体病院の平均値等を参考に、適切な目標を定め、中期目標期間の最終年度までに達成すること。 ※ 職員給与費対医業収益比率 職員給与費対医業収益比率については、同規模の全国自治体病院の平均値等を参考に、適切な目標を定め、人件費の適正化に努めるなど、中期目標期間の最終年度までに達成すること。
------	--

項目 No.	中期計画の取組項目	R6年度計画で特に進捗した取組み／ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み／ 課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由
25	「2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための取組」で定めた計画を確実に実施することにより、業務運営の改善及び効率化を進めるなどして、中期目標期		【経常収支比率】 ・経常収支比率について、収支計画の設定比率 86.9%に対して、決算では 79.2%となり、計画を達成できなかった。 【医業収支比率】	II	経常収支比率、医業収支比率、職員給与費対医業収益比率のいずれも計画を達成できず「II」と評価。

項目 No.	中期計画の取組項目	R6年度計画で特に進捗した取組み/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																																																																																				
	間の各年度の損益計算において、減価償却前収支の黒字化を早期に達成し、中期目標期間の最終年度までに経常収支比率100%以上、医業収支比率100%以上及び職員給与費対医業収益比率75%以下を達成する。		<ul style="list-style-type: none"> ・ 医業収支比率について、収支計画の設定比率89.3%に対して、決算では81.4%となり、計画を達成できなかった。 <p>【職員給与費対医業収益比率】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 職員給与費対医業収益比率について、収支計画の設定比率91.0%に対して、決算では103.1%となり、計画を達成できなかった。 <p>次年度以降、引き続き経常収支比率及び医業収支比率100%以上、職員給与費対医業収益比率75%以下を目指して経営努力を続けていく。</p> <p>1 予算に対する実績（予算執行状況） (単位：百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>計画額</th> <th>決算額</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">収入</td> </tr> <tr> <td>営業収益</td> <td>4,173</td> <td>3,697</td> <td>▲476</td> </tr> <tr> <td> 医業収益</td> <td>3,179</td> <td>2,751</td> <td>▲428</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金収益</td> <td>935</td> <td>887</td> <td>▲48</td> </tr> <tr> <td> その他営業収益</td> <td>59</td> <td>59</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>営業外収益</td> <td>49</td> <td>50</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金収益</td> <td>36</td> <td>36</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td> その他営業外収益</td> <td>13</td> <td>15</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>資本収入</td> <td>321</td> <td>212</td> <td>▲109</td> </tr> <tr> <td> 長期借入金</td> <td>78</td> <td>25</td> <td>▲53</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金</td> <td>197</td> <td>167</td> <td>▲30</td> </tr> <tr> <td> その他資本収入</td> <td>46</td> <td>21</td> <td>▲25</td> </tr> <tr> <td>その他の収入</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>4,542</td> <td>3,959</td> <td>▲583</td> </tr> <tr> <td colspan="4">支出</td> </tr> <tr> <td>営業費用</td> <td>4,243</td> <td>4,132</td> <td>▲111</td> </tr> <tr> <td> 医業費用</td> <td>3,989</td> <td>3,909</td> <td>▲80</td> </tr> <tr> <td> 給与費</td> <td>2,581</td> <td>2,611</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td> 材料費</td> <td>489</td> <td>458</td> <td>▲31</td> </tr> <tr> <td> 経費</td> <td>905</td> <td>830</td> <td>▲75</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	計画額	決算額	増減	収入				営業収益	4,173	3,697	▲476	医業収益	3,179	2,751	▲428	運営費負担金収益	935	887	▲48	その他営業収益	59	59	0	営業外収益	49	50	1	運営費負担金収益	36	36	0	その他営業外収益	13	15	2	資本収入	321	212	▲109	長期借入金	78	25	▲53	運営費負担金	197	167	▲30	その他資本収入	46	21	▲25	その他の収入	0	0	0	計	4,542	3,959	▲583	支出				営業費用	4,243	4,132	▲111	医業費用	3,989	3,909	▲80	給与費	2,581	2,611	30	材料費	489	458	▲31	経費	905	830	▲75		
区 分	計画額	決算額	増減																																																																																						
収入																																																																																									
営業収益	4,173	3,697	▲476																																																																																						
医業収益	3,179	2,751	▲428																																																																																						
運営費負担金収益	935	887	▲48																																																																																						
その他営業収益	59	59	0																																																																																						
営業外収益	49	50	1																																																																																						
運営費負担金収益	36	36	0																																																																																						
その他営業外収益	13	15	2																																																																																						
資本収入	321	212	▲109																																																																																						
長期借入金	78	25	▲53																																																																																						
運営費負担金	197	167	▲30																																																																																						
その他資本収入	46	21	▲25																																																																																						
その他の収入	0	0	0																																																																																						
計	4,542	3,959	▲583																																																																																						
支出																																																																																									
営業費用	4,243	4,132	▲111																																																																																						
医業費用	3,989	3,909	▲80																																																																																						
給与費	2,581	2,611	30																																																																																						
材料費	489	458	▲31																																																																																						
経費	905	830	▲75																																																																																						

項目 No.	中期計画の取組項目	R6年度計画で特に進捗した取組み/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み/ 課題及びその改善策(●)			自己 評価	自己評価理由
			研究研修費	14	10	▲4	
			一般管理費	254	223	▲31	
			給与費	188	169	▲19	
			経費	64	54	▲10	
			営業外費用	64	63	▲1	
			資本支出	516	424	▲92	
			建設改良費	155	80	▲75	
			償還金	358	338	▲20	
			その他資本支出	3	6	3	
			その他の支出	0	0	0	
			計	4,823	4,619	▲204	
			※各項目の数値は、端数をそれぞれ四捨五入している。 そのため、項目ごとの数値の合計と計の欄の数値が一致しないことがある。				
			2 収支計画に対する実績（損益計算書） (単位：百万円)				
			区 分	計画額	決算額	増減	
			収益の部	4,206	3,719	▲487	
			営業収益	4,158	3,668	▲490	
			医業収益	3,165	2,736	▲429	
			運営費負担金収益	935	874	▲61	
			資産見返負債戻入	0	0	0	
			その他営業収益	58	58	0	
			営業外収益	48	50	2	
			運営費負担金収益	36	36	0	
			その他営業外収益	12	14	2	
			臨時利益	0	1	1	
			費用の部	4,841	4,695	▲146	
			営業費用	4,655	4,506	▲149	
			医業費用	4,393	4,273	▲120	
			給与費	2,686	2,647	▲39	
			材料費	447	419	▲28	
			経費	854	767	▲87	
			減価償却費	393	430	37	

項目 No.	中期計画の取組項目	R6年度計画で特に進捗した取組み/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み/ 課題及びその改善策(●)				自己 評価	自己評価理由
				有形固定資産の取得による支出	155	209	54	
				その他の投資活動による支出	3	1	▲2	
				財務活動による支出	358	337	▲21	
				長期借入金の返済による支出	310	289	▲21	
				前前地が債権債務の償還による支出	48	48	0	
				その他財務活動による支出	0	0	0	
				翌事業年度への繰越金	1,368	916	▲452	
			※ 単位					

4 短期借入金の限度額

項目 No.	中期計画の取組項目	R6年度計画で特に進捗した取組み/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由
一	短期借入金の限度額 1 限度額 2 想定される短期借入金の発生理 由		1 限度額 ・ 5億円 2 想定される短期借入金の発生理 由 ・ 実績なし	—	

5 出資等に係る不要財産又は出資等に係る不要財産となることが見込まれる財産がある場合には、当該財産の処分に関する計画

項目 No.	中期計画の取組項目	R6年度計画で特に進捗した取組み/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由
一	出資等に係る不要財産又は出資等 に係る不要財産となることが見込ま れる財産がある場合には、当該財産 の処分に関する計画		・ 該当なし	—	

6 重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画

項目 No.	中期計画の取組項目	R6年度計画で特に進捗した取組み/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由
一	重要な財産を譲渡し、又は担保に 供しようとするときは、その計画		・ 該当なし	—	

7 剰余金の使途

項目 No.	中期計画の取組項目	R6年度計画で特に進捗した取組み/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由
一	剰余金の使途		・ 該当なし	—	

8 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項

中期 目標	8-1 職員の勤務環境の向上	働き方改革を実現するため、労務管理を適正に行うとともに、医療従事者等職員の必要数確保、柔軟な勤務形態の導入、育児支援体制の充実など、職員の勤務環境の改善に取り組むこと。 特に、医師の業務負担軽減や労働時間短縮のため、医師事務作業補助者の充実を図るなど、タスク・シフティング（業務の移管）の推進等国の指針に基づいた取組を着実に実施すること。 また、職員の意見が反映される仕組みの充実を図り、病院で働く全ての職員が誇りを持って職責が果たせるよう、やりがいの創出に努めること。
	8-2 岐阜県及び他の地方独立行政法人との連携	医師の診療応援や人事交流など、岐阜県及び岐阜県の設立した他の地方独立行政法人との連携を推進すること。
	8-3 施設・医療機器の整備	病棟などの施設整備や医療機器整備については、県民の医療需要、費用対効果、医療技術の進展などを総合的に勘案して計画的に実施すること。
	8-4 内部統制の充実強化	内部統制の充実強化を図るため、内部監査のほかモニタリングの結果を、リスクの評価・対応や法人の規程に適切に反映させるなど、内部統制の取組を着実に推進すること。 また、危機管理事案等発生時には、理事長のリーダーシップを発揮し迅速かつ適正に対応すること。
	8-5 法人が負担する債務の償還に関する事項	法人は、岐阜県に対して負担する地方独立行政法人法第86条第1項に規定する債務の処理を確実にすること。

項目 No.	中期計画の取組項目	R6年度計画で特に進捗した取組み/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由								
26	※ 職員の就労環境の向上 1 育児・介護との両立支援や離職防止・復職支援体制の充実 2 働き方改革の実現に向けた取組 3 職員のモチベーション向上に資する取組		1 育児・介護との両立支援や離職防止・復職支援体制の充実 ○ 特別休暇の取得条件緩和 ・子育て等に必要の場合の特別休暇について、取得条件の緩和となる規程改正を令和4年1月に行い、休暇を取得しやすい環境の改善を行った。 ・柔軟な勤務時間体制を推進し、令和6年度は1ヶ月あたり最大17人が育児部分休業を利用した。 ○ 院内保育所 ・幼児を持つ病院職員が働きやすい環境整備に努め、令和6年度は13人の託児を受け入れた。 ・平成24年6月から制度化された土曜保育は、病院職員の勤務体制確立の一翼を担っている。 院内保育所の運営状況 単位：人 <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目/年度</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入所児童数</td> <td>10</td> <td>13</td> <td>13</td> </tr> </tbody> </table>	項目/年度	R4	R5	R6	入所児童数	10	13	13	III	継続的な取組みが実施できているが、平年並みの実績と評価。
項目/年度	R4	R5	R6										
入所児童数	10	13	13										

項目 No.	中期計画の取組項目	R6年度計画で特に進捗した取組み/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由																									
			<table border="1" data-bbox="1240 252 1720 288"> <tr> <td>保育士数</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> </table> <p>※各年度末時点</p> <p>2 働き方改革の実現に向けた取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 時間外勤務の縮減 <ul style="list-style-type: none"> ・ 看護師、コメディカル及び事務職員にタイムカードを導入し、労働時間の把握を行っている。 ・ 医師についてはICカードを導入し、勤怠管理を行っている。 ○ 年次有給休暇の取得 <ul style="list-style-type: none"> ・ 職員が年次有給休暇を取得しやすい環境を整備するよう努め、最低5日間の取得を促した。 <p>平均年休取得日数 単位：日</p> <table border="1" data-bbox="1240 735 1706 802"> <tr> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> </tr> <tr> <td>12.44</td> <td>9.96</td> <td>7.56</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ○ 健康管理対策の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 職員の健康管理の充実を図るため、定期健康診断、特殊健康診断、人間ドックを実施している。 <table data-bbox="1240 932 1765 1082"> <tr> <td>定期健康診断</td> <td>受診数</td> <td>183人</td> </tr> <tr> <td>特殊健康診断（有機溶剤・特定化学物質）</td> <td>受診数</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>特殊健康診断（深夜業務）</td> <td>受診数</td> <td>206人</td> </tr> <tr> <td>特殊健康診断（電離放射線）</td> <td>受診数</td> <td>108人</td> </tr> <tr> <td>人間ドック</td> <td>受診数</td> <td>188人</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ※以上、常勤職員について記載 (人数は延べ、同時実施等で重複あり) ○ ストレスチェック制度の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 義務化されたストレスチェック制度を平成30年度から開始し、メンタルヘルス不調の防止に努めた。 <p>3 職員のモチベーション向上に資する取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コメディカル、事務局の常勤職員を対象に、上半期・下半期ごとに目標設定及び取組みを行い、その結果を人事 	保育士数	5	5	5	R4	R5	R6	12.44	9.96	7.56	定期健康診断	受診数	183人	特殊健康診断（有機溶剤・特定化学物質）	受診数	4人	特殊健康診断（深夜業務）	受診数	206人	特殊健康診断（電離放射線）	受診数	108人	人間ドック	受診数	188人		
保育士数	5	5	5																											
R4	R5	R6																												
12.44	9.96	7.56																												
定期健康診断	受診数	183人																												
特殊健康診断（有機溶剤・特定化学物質）	受診数	4人																												
特殊健康診断（深夜業務）	受診数	206人																												
特殊健康診断（電離放射線）	受診数	108人																												
人間ドック	受診数	188人																												

項目 No.	中期計画の取組項目	R6年度計画で特に進捗した取組み/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由
			<p>面談を踏まえて評価した。</p> <p>4 衛生管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 毎月、院内巡視（5ヶ所）を行い、安全衛生管理に努めた。結果は例月開催の衛生委員会において報告している。 		
27	※ 岐阜県及び他の地方独立行政法人との連携		<p>○ 岐阜県及び他の地方独立行政法人との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> 県総合医療センターからは、内科については、年間を通じて四半期ごとの専攻医1人を常勤で受け入れているほか、常勤医師のいない診療科については、応援医の派遣を受けている。ほかに、視能訓練士（年間）の派遣を受けた。 岐阜県立下呂看護専門学校に対して、医師・歯科医師・看護師等を非常勤講師として派遣し、同校との連携の強化に努めた。 	III	継続的な取組みが実施できているが、平年並みの実績と評価。
28	<p>※ 施設・医療機器の整備</p> <p>1 施設の計画的な整備</p> <p>2 医療機器の計画的な更新・整備</p>		<p>1 施設の計画的な整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員の福利厚生施設（別棟）の整備については、経営状況の改善に努め、その状況に応じて、検討に着手する。 <p>2 医療機器の計画的な更新・整備</p> <p>○ 計画的な更新・整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 老朽化、メーカーメンテナンス期間終了後の故障機器等使用不能により日々の診療に支障を来す機器の更新・整備を中心に実施した。 <p>【新規導入医療機器】</p> <p>デジタルX線TVシステム 他12品目 計61,066千円</p> <p>○ 補助金の活用による整備</p> <p>【岐阜県重症難病患者拠点・協力病院設備費整備費補助金】</p> <ul style="list-style-type: none"> オペ室用ベッドサイドモニター 1式 	III	継続的な取組みが実施できているが、平年並みの実績と評価。

項目 No.	中期計画の取組項目	R6年度計画で特に進捗した取組み/ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み/ 課題及びその改善策(●)	自己 評価	自己評価理由
29	※ 内部統制の充実強化 1 内部統制の充実強化 2 災害等危機管理事案発生時における理事長の統制環境の充実強化		1 内部統制の充実強化 ・令和6年度については、医療安全対策室、総務課管理担当の執行内容について内部監査を実施した。 ・随時、内部監査項目の見直し等を実施し、内部統制の充実を図っている。 ・内部統制基本方針等を制定、4月から施行し、内部統制の充実強化を図った。 2 災害等危機管理事案発生時における理事長の統制環境の充実強化 ・内部統制基本方針等を制定、4月から施行し、内部統制の充実強化を図った。 ・新型コロナウイルス感染症入院患者の受け入れ経験を活かし、新興感染症流行時には理事長をトップとして迅速かつ適正に対応できる体制を整備し、病院全体で対応できるよう情報共有体制の強化に努めた。	Ⅲ	内部統制充実に努め、新興感染症に関しては新型コロナウイルス感染症対応の経験を活かした体制の維持構築に努めた。

項目No.	中期計画の取組項目	R6年度計画で特に進捗した取組み／ 評価結果の反映状況	その他の主な取組み／ 課題及びその改善策(●)	自己評価	自己評価理由																																																								
30	※ 法人が負担する債務の償還に関する事項		<p>・ 岐阜県に対し負担する債務について、次のとおり償還を行った。</p> <p>○ 当期の償還状況 (移行前地方債償還債務) 単位：円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>期首残高</td> <td>48,340,090</td> </tr> <tr> <td>当期償還額</td> <td>48,340,090</td> </tr> <tr> <td>期末残高</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>(長期借入金) 単位：円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>期首残高</td> <td>4,339,770,302</td> </tr> <tr> <td>当期借入額</td> <td>24,500,000</td> </tr> <tr> <td>当期償還額</td> <td>289,180,393</td> </tr> <tr> <td>期末残高</td> <td>4,075,089,909</td> </tr> </tbody> </table> <p>○ 年度別の償還状況 単位：百万円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th colspan="2">実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">第1期中期計画 期間(H22-26計)</td> <td>移行前地方債償還債務</td> <td>934</td> </tr> <tr> <td>長期借入金償還額</td> <td>62</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">第2期中期計画 期間(H27-R1計)</td> <td>移行前地方債償還債務</td> <td>341</td> </tr> <tr> <td>長期借入金償還額</td> <td>509</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R2</td> <td>移行前地方債償還債務</td> <td>78</td> </tr> <tr> <td>長期借入金償還額</td> <td>187</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R3</td> <td>移行前地方債償還債務</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td>長期借入金償還額</td> <td>190</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R4</td> <td>移行前地方債償還債務</td> <td>57</td> </tr> <tr> <td>長期借入金償還額</td> <td>271</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R5</td> <td>移行前地方債償還債務</td> <td>59</td> </tr> <tr> <td>長期借入金償還額</td> <td>272</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R6</td> <td>移行前地方債償還債務</td> <td>48</td> </tr> <tr> <td>長期借入金償還額</td> <td>289</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	金 額	期首残高	48,340,090	当期償還額	48,340,090	期末残高	0	区 分	金 額	期首残高	4,339,770,302	当期借入額	24,500,000	当期償還額	289,180,393	期末残高	4,075,089,909	年度	実績		第1期中期計画 期間(H22-26計)	移行前地方債償還債務	934	長期借入金償還額	62	第2期中期計画 期間(H27-R1計)	移行前地方債償還債務	341	長期借入金償還額	509	R2	移行前地方債償還債務	78	長期借入金償還額	187	R3	移行前地方債償還債務	80	長期借入金償還額	190	R4	移行前地方債償還債務	57	長期借入金償還額	271	R5	移行前地方債償還債務	59	長期借入金償還額	272	R6	移行前地方債償還債務	48	長期借入金償還額	289	III	岐阜県に対し負担する債務の償還を確実に実行しており、平年並みの実績と評価。
区 分	金 額																																																												
期首残高	48,340,090																																																												
当期償還額	48,340,090																																																												
期末残高	0																																																												
区 分	金 額																																																												
期首残高	4,339,770,302																																																												
当期借入額	24,500,000																																																												
当期償還額	289,180,393																																																												
期末残高	4,075,089,909																																																												
年度	実績																																																												
第1期中期計画 期間(H22-26計)	移行前地方債償還債務	934																																																											
	長期借入金償還額	62																																																											
第2期中期計画 期間(H27-R1計)	移行前地方債償還債務	341																																																											
	長期借入金償還額	509																																																											
R2	移行前地方債償還債務	78																																																											
	長期借入金償還額	187																																																											
R3	移行前地方債償還債務	80																																																											
	長期借入金償還額	190																																																											
R4	移行前地方債償還債務	57																																																											
	長期借入金償還額	271																																																											
R5	移行前地方債償還債務	59																																																											
	長期借入金償還額	272																																																											
R6	移行前地方債償還債務	48																																																											
	長期借入金償還額	289																																																											

